

令和8年度

「基礎学力調査」

— 結果の概要 —

令和8年7月
石川県教育委員会

目 次

I 調査の概要

1 調査の目的	1
2 調査の対象等	1
(1) 児童生徒に対する調査	
(2) 教員に対する調査	
3 調査の日時	2
[本書における留意事項]	3

II 調査結果

1 教科に関する調査結果	4
《小学校第4学年 国語》	4
《小学校第4学年 算数》	6
《小学校第6学年 社会》	8
《小学校第6学年 理科》	10
《小学校第6学年 英語》	12
《中学校第3学年 社会》	14
《中学校第3学年 理科》	16
2 質問調査結果	18
《小学校第4学年》	18
《小学校第6学年》	22
《中学校第3学年》	24
《小学校教員》	26
《中学校教員》	28

I 調査の概要

1 調査の目的

児童生徒の基礎的・基本的な知識・技能や活用力の定着状況、及び学習・生活状況について把握・分析し、学校における児童生徒への指導の改善を図る。併せて、教員の指導状況等を把握し、指導改善に役立てる。

2 調査の対象等

(1) 児童生徒に対する調査

○ 教科に関する調査

全公立小・中学校（義務教育学校を含む）における次の学年の全児童生徒を対象に調査した。

ただし、調査の集計・分析については、各学校対象学年から無作為に1学級ずつを抽出して行った。

区 分	小学校第4学年	小学校第6学年	中学校第3学年
実 施 校 数	187 校	186 校	83 校
実施児童生徒数	7,967 人	8,265 人	8,436 人
対 象 教 科	国語・算数	社会・理科・英語	社会・理科
調査問題の範囲	小学校3年生までに学習した内容	小学校5年生までに学習した内容	中学校2年生までに学習した内容

○ 質問調査

全公立小・中学校（義務教育学校を含む）における次の学年の全児童生徒を対象に調査した。

また、調査の集計・分析についても、全児童生徒を対象に行った。

区 分	小学校第4学年	小学校第6学年	中学校第3学年
実施児童生徒数	7,809 人	8,178 人	8,305 人
調 査 の 内 容	学習に対する意識や家庭学習、生活習慣などの状況等に関する内容		

(2) 教員に対する調査

○ 質問調査

全公立小・中学校（義務教育学校を含む）における教員を対象に調査した。

区 分	小学校	中学校
実 施 校 数	188 校	83 校
実 施 教 員 数	3,053 人	1,705 人
調 査 の 内 容	授業における指導状況等に関する内容	

3 調査の日時

(1) 児童生徒に対する調査

○ 教科に関する調査

令和8年4月22日（水）

時限	小学校第4学年	小学校第6学年	中学校第3学年
1 限	国語（40 分）	社会（40 分）	社会（45 分）
2 限	算数（40 分）	理科（40 分）	理科（45 分）
3 限		英語（30 分）	

○ 質問調査

令和8年5月7日（木）～5月13日（水）の期間で分散して実施した。

(2) 教員に対する調査

○ 質問調査

令和8年5月7日（木）～5月13日（水）の期間で分散して実施した。

到達状況について

正答率の状況により、児童生徒の到達状況を次のように表記した。

正 答 率	「到達状況」を示す記号、用語
90 % 以上の場合	◎：良好である
80 % 以上～90 % 未満の場合	○：概ね良好である
70 % 以上～80 % 未満の場合	◇：基準に到達している
60 % 以上～70 % 未満の場合	▽：十分とはいえない
60 % 未満の場合	▼：不十分である

※ 正答率とは、全問題数に対する正答と準正答（内容的に正答に近く、概ね身に付けていると判断できる解答）を合計した数の割合のことをいう。

Ⅱ 調査結果

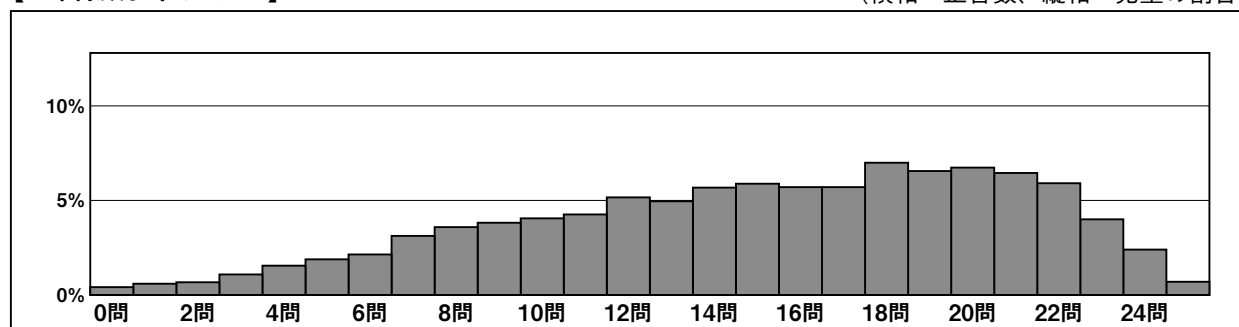
1 教科に関する調査結果

《小学校第4学年 国語》

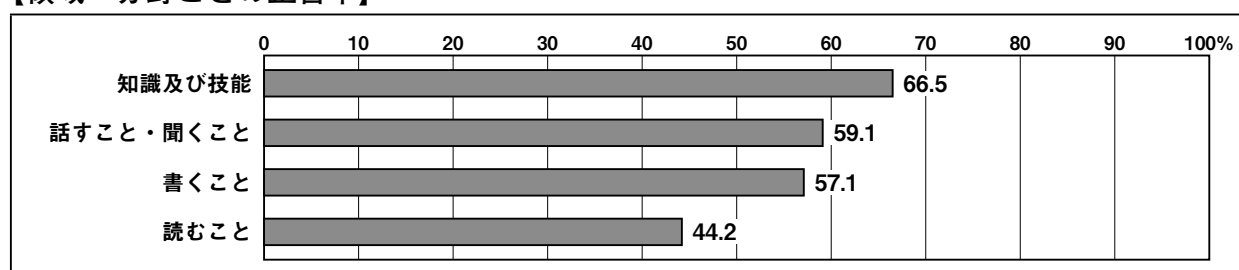
抽出児童数	平均正答率	平均正答数
3,875人	60.2%	15.1問／25問

【正答数分布グラフ】

(横軸：正答数、縦軸：児童の割合)



【領域・分野ごとの正答率】



【正答率の高い設問】

	設問番号	問題の内容	正答率
1	8④	漢字の読み(転ぶ)	93.2
2	8③	漢字の読み(洋服)	90.5
3	8②	漢字の書き取り(ふるい)	87.1

【正答率の低い設問】

	設問番号	問題の内容	正答率
1	3 1 内容	考えの形成、記述(内容)	26.6
2	1 4	話合いの進め方(司会の役割)	29.0
3	2 2①	説明的文章の精査・解釈	29.6

【無解答率の高い設問】

	設問番号	問題の内容	無解答率
1	4 2	指示語	20.7
2	4 1(1)	国語辞典の使い方	18.8
3	3 1	構成の検討(条件)、考えの形成、記述(内容)、推敲(表記)	14.0

【領域・分野ごとの到達状況の傾向】

◎：良好である ○：概ね良好である ◇：基準に到達している
▽：十分とはいえない ▼：不十分である

【知識及び技能】

- ：基本的な漢字を読んだり書いたりすること〔8〕
- ◇：日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読むこと〔6②、③〕
- ▼：指示する語句の役割について、理解すること〔4 2〕

【話すこと・聞くこと】

- ▽：互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて質問すること〔1 2〕
- ▼：目的や進め方を確認し、司会の役割を果たしながら話し合うこと〔1 4〕

【書くこと】

- ▽：間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整えること〔3 1 表記〕
- ▼：自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること〔3 1 内容〕

【読むこと】

- ▼：段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えること〔2 1〕
- ▼：目的を意識して、中心となる語や文を見付けること〔2 2①、②〕

【各設問の正答率等】

小学校第4学年（国語）

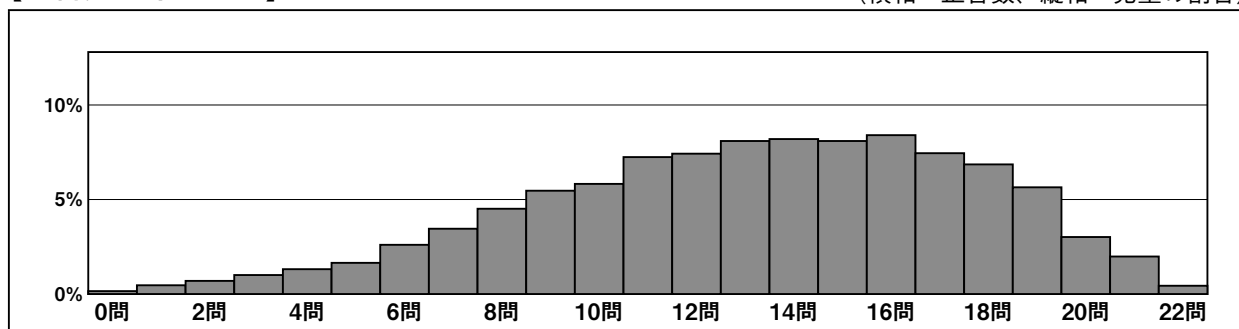
設問 番号	領域 分野	問題の内容	評価の観点			割合（％）				
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	正答率	正答	準正答	誤答	無解答
1	1	話すこと 聞くこと	話合いの進め方（司会の役割）	○		68.2	68.2	0.0	31.0	0.8
	2		話合いの進め方（相手の発言を受けて質問をする）	○		69.9	69.9	0.0	28.9	1.2
	3		話合いの進め方（相手の発言を受けて話をつなぐ）	○		69.5	69.5	0.0	29.1	1.5
	4		話合いの進め方（司会の役割）	○		29.0	18.4	10.6	63.6	7.3
2	1	読むこと	説明的文章の構造と内容の把握	○		41.7	41.7	0.0	55.9	2.4
	2①		説明的文章の精査・解釈	○		29.6	20.6	9.0	63.0	7.4
	2②		説明的文章の精査・解釈	○		36.5	30.7	5.8	51.8	11.7
	3		考えの形成	○		69.2	69.2	0.0	25.6	5.2
3	1条件	書くこと	構成の検討（条件）	○		66.5	63.8	2.7	19.5	14.0
	1内容		考えの形成、記述（内容）	○		26.6	26.6	0.0	59.5	14.0
	1表記		推敲（表記）	○		69.9	30.3	39.6	16.1	14.0
	2		推敲	○		65.4	61.1	4.4	24.5	10.1
4	1(1)	知識及び技能	国語辞典の使い方	○		48.8	48.8	0.0	32.4	18.8
	1(2)		語彙	○		66.2	66.2	0.0	26.8	7.0
	2		指示語	○		45.0	45.0	0.0	34.3	20.7
5	①	知識及び技能	主語と述語との関係	○		60.0	60.0	0.0	33.9	6.1
	②		修飾と被修飾との関係	○		64.3	64.3	0.0	24.7	11.0
6	①	知識及び技能	ローマ字の書き（なべ）	○		47.4	47.4	0.0	43.3	9.3
	②		ローマ字の読み（sekken）	○		80.0	80.0	0.0	10.6	9.4
	③		ローマ字の読み（kingyo）	○		74.6	74.6	0.0	15.4	10.0
7		知識及び技能	筆順（右）	○		29.8	29.8	0.0	58.2	12.0
8	①	知識及び技能	漢字の書き取り（こうえん）	○		77.0	77.0	0.0	17.1	5.9
	②		漢字の書き取り（ふるい）	○		87.1	87.1	0.0	6.2	6.7
	③		漢字の読み（洋服）	○		90.5	90.5	0.0	3.6	5.9
	④		漢字の読み（転ぶ）	○		93.2	93.2	0.0	1.3	5.5

《小学校第4学年 算数》

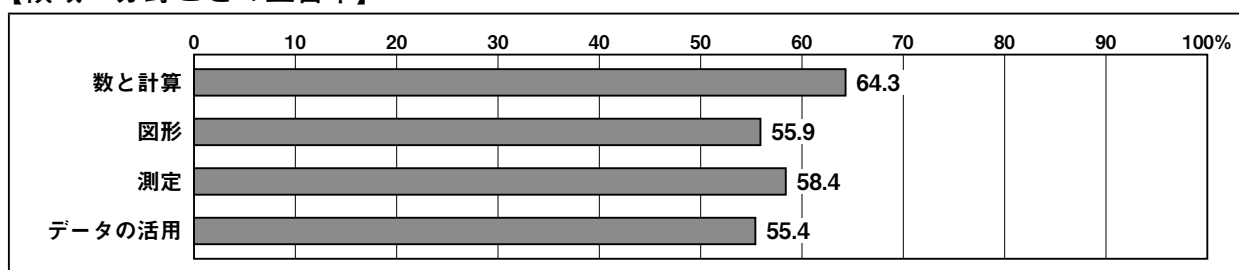
抽出児童数	平均正答率	平均正答数
3,879人	59.8%	13.2問／22問

【正答数分布グラフ】

(横軸：正答数、縦軸：児童の割合)



【領域・分野ごとの正答率】



【正答率の高い設問】

	設問番号	問題の内容	正答率
1	1(1)	繰り上がりのある加法計算	91.8
2	2(5)	はかりを用いた重さの測定	90.4
3	3(2)	正三角形の定義	88.3

【正答率の低い設問】

	設問番号	問題の内容	正答率
1	5	長さの単位と測定	14.4
2	9(2)	グラフの読み取りを根拠とした正しくない理由の説明【理由】	17.4
3	3(1)	円の中心と半径	33.1

【無解答率の高い設問】

	設問番号	問題の内容	無解答率
1	9(2)	グラフの読み取りを根拠とした正しくない理由の説明【理由】	17.9
2	8(2)	題意に即した余りの適切な処理の説明【方法】	10.2
3	2(3)	平面図形の敷き詰め	9.5

【領域・分野ごとの到達状況の傾向】

◎：良好である ○：概ね良好である ◇：基準に到達している
▽：十分とはいえない ▼：不十分である

【数と計算】

- ◎：繰り上がりのある3位数の加法計算をすること〔1(1)〕
- ：十、百の位からの繰り下がりのある減法計算をすること〔1(2)〕
- ▼：乗法の意味を理解すること〔2(1)〕

【図形】

- ：正三角形の定義を理解すること〔3(2)〕
- ▼：円の半径と三角形の等しい辺の関係を理解すること〔3(1)〕

【測定】

- ：時刻を正確に読み取ること〔6(1)〕
- ▼：長さの単位の意味について理解すること〔5〕

【データの活用】

- ：棒グラフを読み取ること〔9(1)〕
- ▼：簡単な二次元表の数値から読み取ったことを表現すること〔4(2)〕

【各設問の正答率等】

小学校第4学年（算数）

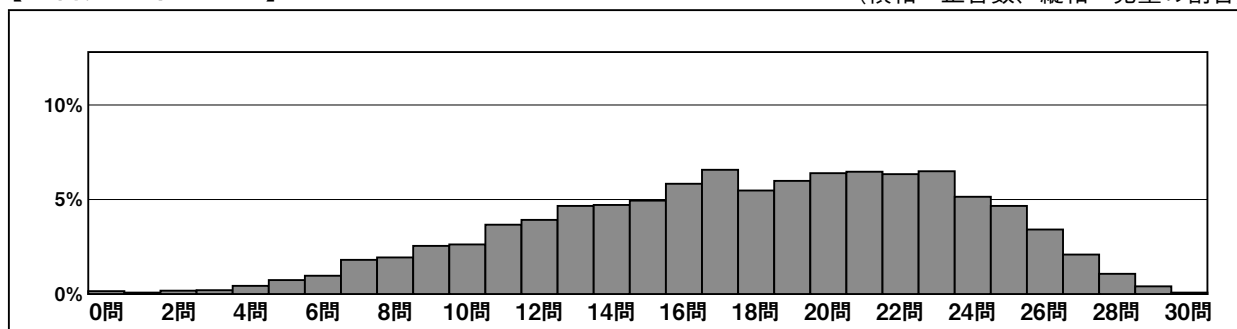
設問 番号	領域 分野	問 題 の 内 容	評価の観点			割 合（％）				
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	正答率	正答	準正答	誤答	無解答
1	数と計算	繰り上がりのある加法計算	○			91.8	91.8	0.0	8.0	0.2
		十、百の位からの繰り下がりのある減法計算	○			81.9	81.9	0.0	17.3	0.8
		余りのない除法計算	○			72.3	72.3	0.0	22.3	5.5
		3位数×2位数	○			67.5	67.5	0.0	29.4	3.1
		小数+整数	○			71.6	71.6	0.0	27.0	1.4
2	数と計算	乗法の意味	○			54.4	54.4	0.0	44.8	0.8
		数直線上に表した分数	○			51.8	51.8	0.0	40.7	7.5
	図形	平面図形の敷き詰め		○		38.7	38.7	0.0	51.8	9.5
	測定	かさの適切な単位	○			50.7	50.6	0.1	47.6	1.7
		はかりを用いた重さの測定	○			90.4	90.4	0.0	8.3	1.2
3	図形	円の中心と半径	○			33.1	33.1	0.0	59.5	7.4
		正三角形の定義	○			88.3	88.3	0.0	10.1	1.6
4	データの活用	簡単な二次元表の読み取り	○			81.2	81.2	0.0	15.7	3.2
		簡単な二次元表の数値の意味【事実】		○		39.3	34.1	5.2	54.5	6.2
5	測定	長さの単位と測定	○			14.4	14.4	0.0	80.9	4.7
6	測定	時刻の読み取り	○			87.3	87.3	0.0	9.0	3.7
		時刻と時間		○		49.2	49.2	0.0	45.1	5.6
7	図形	直方体の辺の数と頂点の数		○		63.4	63.4	0.0	33.8	2.8
8	数と計算	□を用いた式		○		44.7	44.7	0.0	46.5	8.9
		題意に即した余りの適切な処理の説明【方法】		○		42.2	26.9	15.3	47.6	10.2
9	データの活用	棒グラフの読み取り	○			83.8	83.8	0.0	7.1	9.1
		グラフの読み取りを根拠とした正しくない理由の説明【理由】		○		17.4	7.8	9.5	64.8	17.9

《小学校第6学年 社会》

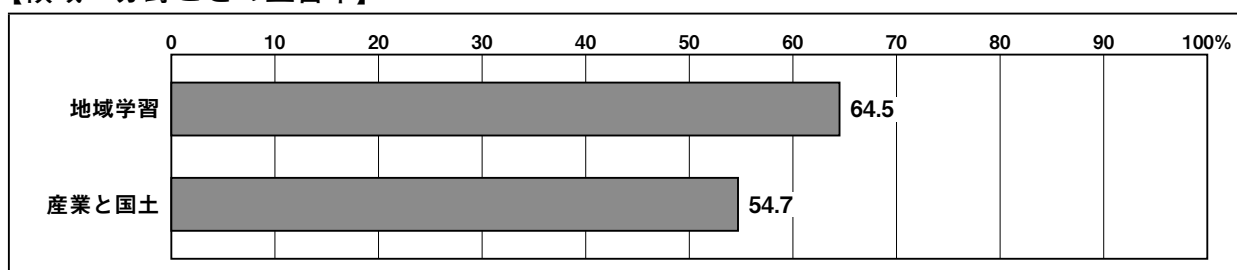
抽出児童数	平均正答率	平均正答数
3,926人	59.2%	17.8問／30問

【正答数分布グラフ】

(横軸：正答数、縦軸：児童の割合)



【領域・分野ごとの正答率】



【正答率の高い設問】

	設問番号	問題の内容	正答率
1	1(1)②	石川県の自然（能登半島）	93.8
2	3(3)B	人々の生活の変化	91.3
3	5(1)②	水産業に関わる人々の工夫（仕事の効率化）	89.9

【正答率の低い設問】

	設問番号	問題の内容	正答率
1	3(1)	公共施設の種類の	11.1
2	5(4)D	水産業に関わる人々の工夫（水産資源の保護）	19.8
3	5(4)C	水産業に関わる人々の工夫（漁期の設定）	21.1

【無解答率の高い設問】

	設問番号	問題の内容	無解答率
1	5(4)D	水産業に関わる人々の工夫（水産資源の保護）	24.9
2	6(3)C	沖縄県のくらしの工夫	21.1
3	5(3)B	魚の価格と費用についての考察	16.4

【領域・分野ごとの到達状況の傾向】

◎：良好である ○：概ね良好である ◇：基準に到達している
▽：十分とはいえない ▼：不十分である

【地域学習】

- ：石川県全体の地形や方位を理解すること〔1(1)①、②〕
- ：地域の様子の移り変わりについて、地図から読み取ること〔3(2)〕
- ◇：地図帳の索引から位置を読み取ること〔1(5)〕
- ▼：主な公共施設について理解すること〔3(1)〕

【産業と国土】

- ：赤道の位置について理解すること〔2(3)①〕
- ◇：気候の特色について、資料から必要な情報を読み取ること〔6(1)B〕
- ▼：魚の水揚げ量と価格の変化を表したグラフから、情報を適切に読み取ること〔5(2)〕
- ▼：持続可能な漁業を目指し水産資源を保護していることについて、複数の資料を基に考察し、適切に表現すること〔5(4)C、D〕

[] 内：設問番号

【各設問の正答率等】

小学校第6学年（社会）

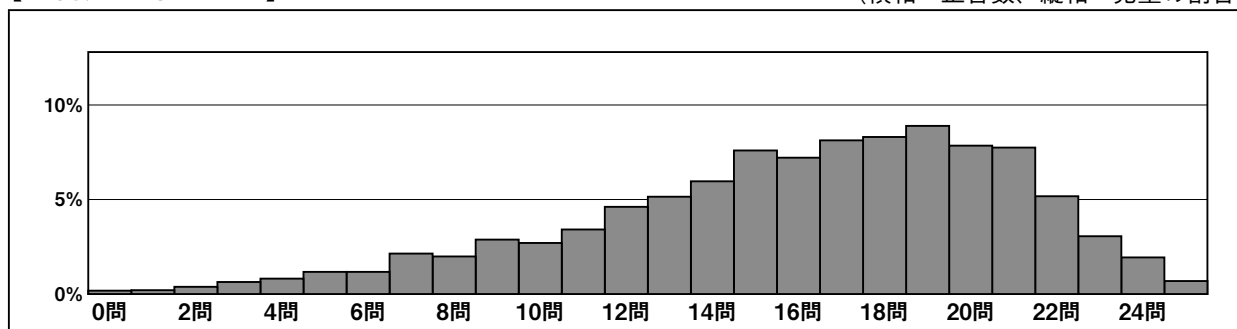
設問 番号	領域 分野	問題の内容	評価の観点			割合（％）				
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	正答率	正答	準正答	誤答	無解答
1	(1)① (1)② (2) (3) (4) (5)	地域学習	石川県の市の位置（方位）	○		84.4	84.4	0.0	13.6	2.0
			石川県の自然（能登半島）	○		93.8	93.8	0.0	5.0	1.2
			縮尺の活用	○		49.3	49.3	0.0	45.6	5.1
			地図記号の活用	○		69.6	69.6	0.0	30.0	0.4
			石川県の伝統産業	○		68.4	68.4	0.0	30.4	1.2
			地図帳の活用	○		70.8	70.8	0.0	21.2	8.0
2	(1)①A (1)②B (2) (3)① (3)②	産業と国土	日本の位置と領土（ユーラシア大陸の東・太平洋の西）		○	35.8	27.1	8.7	56.5	7.6
			日本の位置と領土（東端の経度）	○		54.4	54.4	0.0	36.9	8.7
			日本の位置と領土（東京からの距離）	○		64.7	64.7	0.0	33.4	1.9
			赤道の位置	○		87.1	87.1	0.0	10.8	2.1
			世界の主な大陸（オーストラリア大陸）	○		53.1	53.1	0.0	38.1	8.8
3	(1) (2) (3)A (3)B	地域学習	公共施設の種類	○		11.1	11.1	0.0	87.2	1.7
			地域の様子の移り変わり	○		89.0	89.0	0.0	8.4	2.6
			生活の道具の移り変わり		○	78.0	78.0	0.0	18.7	3.2
			人々の生活の変化		○	91.3	89.9	1.4	5.0	3.7
4	(1) (2)A (3)B (3)C	地域学習	飲料水を供給する事業（供給の仕組み）	○		65.1	65.1	0.0	34.9	0.0
			飲料水を供給する事業（森林のはたらき）		○	33.4	29.9	3.5	58.7	7.8
			飲料水を供給する事業（給水量と人口）		○	51.6	44.5	7.1	38.3	10.2
			飲料水を供給する事業（給水量と人口）		○	46.6	37.5	9.1	43.0	10.4
5	(1)① (1)② (2) (3)A (3)B (4)C (4)D	産業と国土	水産業に関わる人々の工夫（仕事の効率化）	○		87.3	87.3	0.0	10.2	2.5
			水産業に関わる人々の工夫（仕事の効率化）	○		89.9	89.9	0.0	7.1	3.0
			水産業に関わる情報の読み取り	○		32.7	32.7	0.0	63.0	4.4
			魚の価格と費用についての考察		○	70.0	70.0	0.0	21.2	8.8
			魚の価格と費用についての考察		○	31.4	10.8	20.6	52.2	16.4
			水産業に関わる人々の工夫（漁期の設定）		○	21.1	19.2	1.9	63.9	15.0
			水産業に関わる人々の工夫（水産資源の保護）		○	19.8	16.3	3.6	55.2	24.9
6	(1)A (1)B (2) (3)C	産業と国土	沖縄県の気温と降水量	○		57.8	57.8	0.0	31.9	10.3
			沖縄県の気温と降水量	○		73.1	73.1	0.0	13.0	13.9
			沖縄県のくらしの工夫	○		57.4	57.4	0.0	30.4	12.2
			沖縄県のくらしの工夫		○	38.9	34.4	4.6	39.9	21.1

《小学校第6学年 理科》

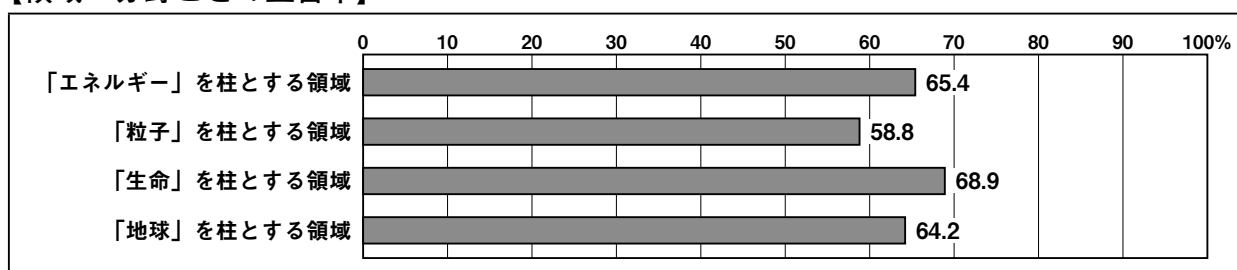
抽出児童数	平均正答率	平均正答数
3,924人	64.0%	16.0問／25問

【正答数分布グラフ】

(横軸：正答数、縦軸：児童の割合)



【領域・分野ごとの正答率】



【正答率の高い設問】

	設問番号	問題の内容	正答率
1	2(1)	季節による植物の成長の違い	93.9
2	3(1)実際	物と重さの関係	90.2
3	7(2)	メダカの卵が変化していく順	87.8

【正答率の低い設問】

	設問番号	問題の内容	正答率
1	3(3)	物の体積と重さとの関係【分析】	29.0
2	5(1)	電気を通す物と通さない物	35.8
3	6(1)①	実験における安全面への配慮	38.4

【無解答率の高い設問】

	設問番号	問題の内容	無解答率
1	5(2)	電気を通すつなぎ方	6.8
2	6(1)①	実験における安全面への配慮	6.6
3	7(3)	観察記録を基にしたメダカの成長についての考察【分析】	5.6

【領域・分野ごとの到達状況の傾向】

◎：良好である ○：概ね良好である ◇：基準に到達している
▽：十分とはいえない ▼：不十分である

【「エネルギー」を柱とする領域】

- ：振り子の実験の適切な方法や適切な処理の仕方について理解すること〔4(2)〕
- ▼：電磁石の強さは導線の巻数によって変わることを理解すること〔5(4)〕

【「粒子」を柱とする領域】

- ：物の重さについて、予想が確かめられた場合に得られる結果を見通すこと〔3(1)予想〕
- ▼：異なる物質で重さを同じにしたときの体積の違いについて、実験結果を基に、見だし表現すること〔3(3)〕

【「生命」を柱とする領域】

- ：メダカの卵の中の様子が変化する過程を理解すること〔7(2)〕
- ▼：身近な植物は、暖かい季節、寒い季節などによって成長に違いが見られることを、グラフから読み取り表現すること〔2(2)〕

【「地球」を柱とする領域】

- ：方位を調べる器具（方位磁針）の使い方を理解すること〔1(1)〕
- ▼：月は1日のうちでも時刻によって位置が変わることを理解すること〔1(2)〕

【各設問の正答率等】

小学校第6学年（理科）

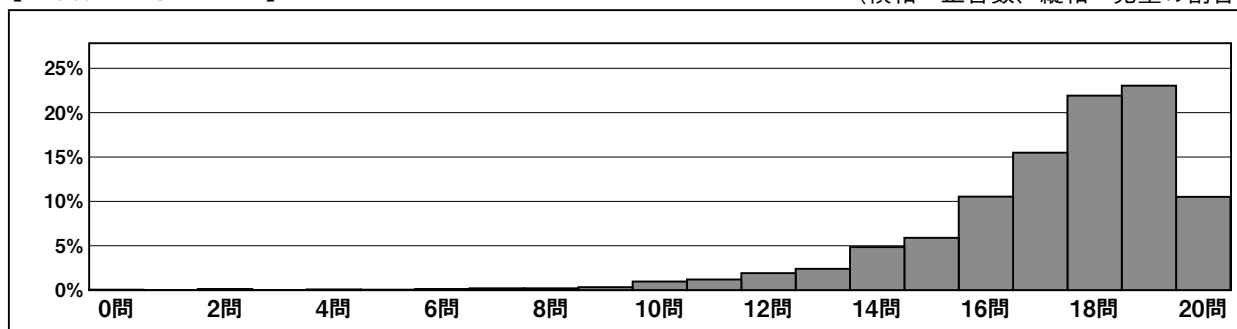
設問 番号	領域 分野	問題の内容	評価の観点			割合（％）				
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	正答率	正答	準正答	誤答	無解答
1	(1)	「地球」 を柱とする領域	方位磁針の使い方	○		80.2	80.2	0.0	18.1	1.7
	(2)		月の位置の変化	○		50.3	50.3	0.0	49.1	0.6
	(3)		星の並び方	○		58.1	9.3	48.8	39.3	2.7
2	(1)	「生命」 を柱とする領域	季節による植物の成長の違い	○		93.9	93.9	0.0	6.0	0.1
	(2)		季節による植物の成長の変化についての考察【分析】		○	50.6	5.8	44.8	45.3	4.1
3	(1)予想	「粒子」 を柱とする領域	予想が確かめられた場合に得られる結果の見通し【構想】		○	80.8	80.8	0.0	18.7	0.5
	(1)実際		物と重さの関係	○		90.2	90.2	0.0	7.7	2.1
	(2)		学習課題に正対したまとめの吟味【検討・改善】		○	62.9	51.5	11.4	32.4	4.7
	(3)		物の体積と重さとの関係【分析】		○	29.0	29.0	0.0	70.6	0.4
4	(1)	「エネルギー」 を柱とする領域	条件制御を踏まえた実験方法の構想【構想】		○	78.2	78.2	0.0	21.5	0.3
	(2)		振り子の実験に関する技能	○		85.9	85.9	0.0	12.7	1.3
	(3)		ふりがが1往復する時間を変化させる条件の考察【分析】		○	65.9	49.8	16.1	30.0	4.1
5	(1)	「エネルギー」 を柱とする領域	電気を通す物と通さない物	○		35.8	35.8	0.0	63.3	0.9
	(2)		電気を通すつなぎ方	○		71.9	68.5	3.4	21.2	6.8
	(3)		磁石の性質	○		77.7	77.7	0.0	21.8	0.5
	(4)		電磁石の強さとコイルの巻き数の関係	○		42.4	39.6	2.8	53.3	4.2
6	(1)①	「粒子」 を柱とする領域	実験における安全面への配慮	○		38.4	38.4	0.0	55.0	6.6
	(1)②		実験における安全面への配慮	○		60.9	60.9	0.0	34.7	4.5
	(2)		水を温めたり冷やしたりしたときの水の状態変化	○		49.8	49.8	0.0	46.5	3.6
	(3)	「地球」 を柱とする領域	自然界での水の状態変化	○		75.2	75.2	0.0	23.5	1.3
7	(1)	「生命」 を柱とする領域	メダカの雌雄	○		65.4	65.4	0.0	33.6	1.0
	(2)		メダカの卵が変化していく順	○		87.8	87.8	0.0	11.5	0.7
	(3)		観察記録を基にしたメダカの成長についての考察【分析】		○	46.9	8.7	38.2	47.5	5.6
8	(1)	「地球」 を柱とする領域	条件制御を踏まえた実験方法の構想【構想】		○	70.2	70.2	0.0	25.3	4.5
	(2)		水のしみ込み方と土の粒の大きさとの関係	○		51.3	51.3	0.0	46.7	2.0

《小学校第6学年 英語》

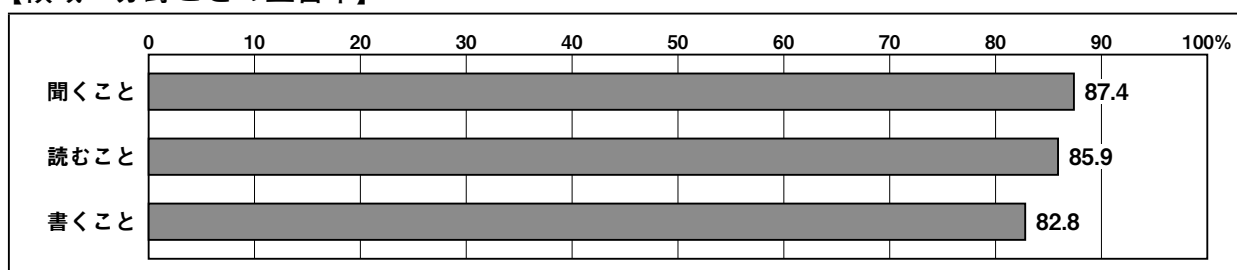
抽出児童数	平均正答率	平均正答数
3,919人	85.8%	17.2問／20問

【正答数分布グラフ】

(横軸：正答数、縦軸：児童の割合)



【領域・分野ごとの正答率】



【正答率の高い設問】

	設問番号	問題の内容	正答率
1	1(3)	自己紹介(好きな色)の聞き取り	99.4
2	2(1)	注文した料理の聞き取り	99.3
3	1(2)	自己紹介(スポーツ)の聞き取り	98.9

【正答率の低い設問】

	設問番号	問題の内容	正答率
1	4(2)	短い会話(その場所が好きな理由)の聞き取り	21.9
2	7(2)	アルファベットの小文字を書くこと	61.1
3	9	文章(町のおすすめの場所)を推測しながら読んで、必要な情報を得ること	75.3

【無解答率の高い設問】

	設問番号	問題の内容	無解答率
1	7(3)	アルファベットの小文字を書くこと	1.6
2	4(2)	短い会話(その場所が好きな理由)の聞き取り	1.6
3	7(1)	アルファベットの大文字を書くこと	1.3

【領域・分野ごとの到達状況の傾向】

◎：良好である ○：概ね良好である ◇：基準に到達している
▽：十分とはいえない ▼：不十分である

【聞くこと】

- ◎：身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を聞き取ること〔2〕
- ◎：身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現で話される短い会話を聞いて、必要な情報を得ること〔5〕
- ▼：日常生活に関する身近で簡単な事柄(お気に入りの場所)について、具体的な情報を聞き取ること〔4(2)〕

【読むこと】

- ◎：日常生活に関する身近で簡単な事柄を内容とするものを読んで、自分が必要とする情報を得ること〔8(2)〕
- ◇：日常生活に関する身近で簡単な事柄を内容とするものを推測しながら読んで、自分が必要とする情報を得ること〔9〕

【書くこと】

- ◇：相手に伝えるなどの目的をもって、身近で簡単な事柄について、簡単な語句を書き写すこと〔10(3)〕
- ▽：文字の読み方が発音されるのを聞いて、活字体の小文字を書くこと〔7(2)〕

【各設問の正答率等】

小学校第6学年（英語）

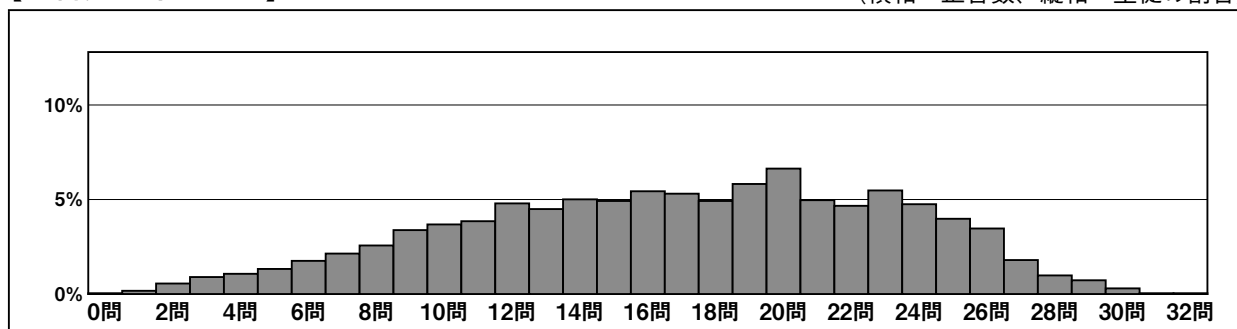
設問 番号	領域 分野	問 題 の 内 容	評価の観点			割 合（％）				
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	正答率	正答	準正答	誤答	無解答
1	(1)	自己紹介（好きな動物）の聞き取り	○			96.2	96.2	0.0	3.6	0.2
	(2)	自己紹介（スポーツ）の聞き取り	○			98.9	98.9	0.0	1.0	0.2
	(3)	自己紹介（好きな色）の聞き取り	○			99.4	99.4	0.0	0.5	0.1
2	(1)	注文した料理の聞き取り	○			99.3	99.3	0.0	0.6	0.1
	(2)	注文した料理の金額の聞き取り	○			96.4	96.4	0.0	3.3	0.3
3	聞くこと	短い会話（道案内）の聞き取り	○			82.6	82.6	0.0	17.3	0.2
4	(1)	短い会話（お気に入りの場所）の聞き取り	○			85.7	85.7	0.0	13.3	1.0
	(2)	短い会話（その場所が好きな理由）の聞き取り	○			21.9	21.8	0.1	76.5	1.6
5	(1)	短い会話（文房具セットの中身）を聞いて、必要な情報を得ること		○		93.3	93.3	0.0	6.6	0.2
	(2)	短い会話（消しゴムの形状）を聞いて、必要な情報を得ること		○		93.6	93.6	0.0	6.2	0.2
6	聞くこと	短い説明を聞いて、その概要を捉えること		○		94.3	94.3	0.0	5.4	0.3
7	(1)	アルファベットの大文字を書くこと	○			80.5	80.5	0.0	18.2	1.3
	(2)	アルファベットの小文字を書くこと	○			61.1	61.1	0.0	37.7	1.2
	(3)	アルファベットの小文字を書くこと	○			89.6	89.6	0.0	8.8	1.6
8	(1)	単語（math）を読んで意味を理解すること	○			86.5	86.5	0.0	13.4	0.2
	(2)	単語（science）を読んで意味を理解すること	○			96.0	96.0	0.0	3.6	0.4
9	読むこと	文章（町のおすすめの場所）を推測しながら読んで、必要な情報を得ること		○		75.3	75.3	0.0	23.5	1.2
10	(1)	目的・場面・状況に応じて自分の誕生日を書き写すこと		○		95.5	91.1	4.4	3.6	0.9
	(2)	目的・場面・状況に応じて自分が好きな曜日を書き写すこと		○		93.0	84.0	9.0	6.1	0.9
	(3)	目的・場面・状況に応じて自分ができていることを書き写すこと		○		77.2	72.3	4.9	21.8	1.0

《中学校第3学年 社会》

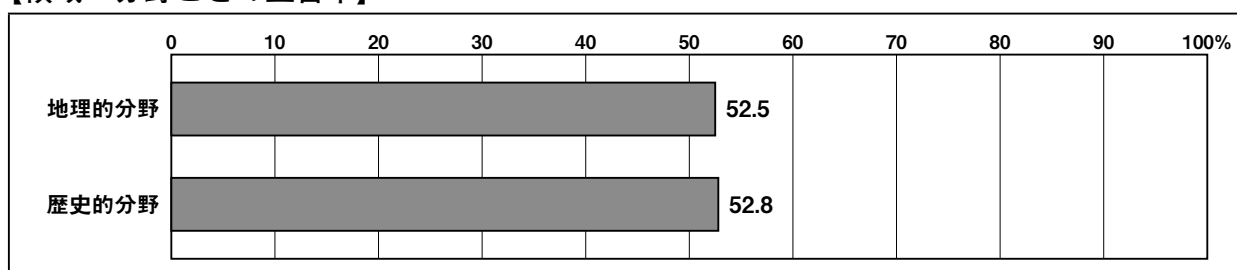
抽出生徒数	平均正答率	平均正答数
2,336人	52.7%	16.9問／32問

【正答数分布グラフ】

(横軸：正答数、縦軸：生徒の割合)



【領域・分野ごとの正答率】



【正答率の高い設問】

	設問番号	問題の内容	正答率
1	1(1)②	東京からの距離（正距方位図法）	94.6
2	4(1)	日本の領土（択捉島）	90.7
3	5(1)	歴史上の人物（ペリー）	88.1

【正答率の低い設問】

	設問番号	問題の内容	正答率
1	4(6)	日本の工業（工業地域の立地の特色）	3.9
2	1(2)②	北アメリカ州の農業の特徴	5.8
3	1(2)③	北アメリカ州の移民の特徴	8.6

【無解答率の高い設問】

	設問番号	問題の内容	無解答率
1	4(6)	日本の工業（工業地域の立地の特色）	22.3
2	2(4)	歴史上の人物（空海）	21.2
3	5(4)②	開国後の主な貿易相手国の変化の背景	17.5

【領域・分野ごとの到達状況の傾向】

◎：良好である ○：概ね良好である ◇：基準に到達している
▽：十分とはいえない ▼：不十分である

【地理的分野】

- ：中心からの距離と方位が正しい地図を活用し、世界各地の位置関係や中心からの方位を捉えること〔1(1)②、③〕
- ◇：日本周辺の漁場について理解すること〔4(4)〕
- ▼：北アメリカ州の農業について複数の資料を基に考察し、適切に表現すること〔1(2)②〕
- ▼：工業地域の特色について、複数の資料を基に考察し、適切に表現すること〔4(6)〕

【歴史的分野】

- ◇：産業革命後の欧米諸国の労働問題について資料を基に考察し、適切に表現すること〔5(2)〕
- ▽：中世の基礎・基本となる歴史上の人物について理解すること〔3(1)〕
- ▼：藤原氏や平氏が政治上の権力をにぎることができた理由について、複数の資料を基に考察し、適切に表現すること〔2(5)〕
- ▼：開国後の主な貿易相手国の変化の背景について、複数の資料を基に考察し、適切に表現すること〔5(4)②〕

【各設問の正答率等】

中学校第3学年（社会）

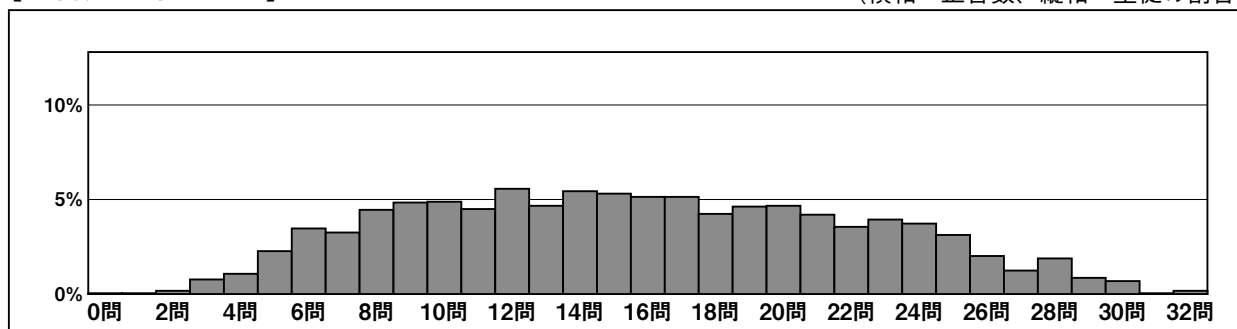
設問 番号	領域 分野	問題の内容	評価の観点				割合（％）			
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	正答率	正答	準正答	誤答	無解答
1	地理的分野	(1)①A 六大陸（南アメリカ大陸）	○			56.3	56.3	0.0	42.6	1.1
		(1)①B 三大洋（大西洋）	○			72.9	72.9	0.0	25.0	2.1
		(1)② 東京からの距離（正距方位図法）	○			94.6	94.6	0.0	5.4	0.1
		(1)③ 東京からの方位（正距方位図法）	○			82.7	82.7	0.0	14.4	2.9
		(1)④ 世界の気候の特色（亜寒帯）	○			58.1	58.1	0.0	41.4	0.4
		(2)① 北アメリカ州の工業地域	○			49.3	49.3	0.0	50.4	0.3
		(2)② 北アメリカ州の農業の特徴		○		5.8	5.7	0.1	85.5	8.6
		(2)③ 北アメリカ州の移民の特徴		○		8.6	7.4	1.3	77.1	14.3
2	歴史的分野	(1) 歴史上の事象（中国の王朝）	○			64.7	64.7	0.0	35.1	0.2
		(2) 歴史上の事象（大化の改新）	○			64.6	64.6	0.0	23.2	12.2
		(3) 歴史上の事象（天平文化）	○			48.8	48.8	0.0	50.6	0.6
		(4) 歴史上の人物（空海）	○			44.9	44.9	0.0	33.8	21.2
		(5) 藤原氏や平氏が栄えた理由		○		14.9	2.3	12.5	72.6	12.6
3	歴史的分野	(1) 歴史上の人物（フビライ・ハン）	○			64.9	64.9	0.0	20.0	15.1
		(2) 日本でキリスト教の布教が始まった背景	○			54.4	54.4	0.0	45.1	0.6
		(3) 歴史上の事象（書院造）	○			52.7	52.7	0.0	35.6	11.7
		(4)X 豊臣秀吉の統一事業（刀狩令の目的）		○		64.2	52.3	11.9	29.4	6.4
		(4)Y 豊臣秀吉の統一事業（兵農分離）		○		20.9	19.1	1.8	64.6	14.5
		(5) 時代の流れ（並び替え）	○			56.0	56.0	0.0	43.5	0.5
4	地理的分野	(1) 日本の領土（択捉島）	○			90.7	90.7	0.0	8.9	0.4
		(2)① 北海道の農業の特徴	○			21.6	21.6	0.0	64.6	13.8
		(2)② 北海道の酪農の特徴		○		22.9	16.9	6.0	62.8	14.3
		(3) 日本周辺の海流（千島海流）	○			62.2	62.2	0.0	32.3	5.5
		(4) 日本周辺の漁場（潮目・潮境）	○			72.8	72.8	0.0	15.1	12.1
		(5) 日本の主な山脈（奥羽山脈）	○			84.5	84.5	0.0	14.9	0.6
		(6) 日本の工業（工業地域の立地の特色）		○		3.9	3.5	0.4	73.8	22.3
5	歴史的分野	(1) 歴史上の人物（ペリー）	○			88.1	88.1	0.0	6.4	5.5
		(2) 産業革命の問題点		○		70.6	62.6	8.0	20.9	8.5
		(3) 歴史上の事象（下田）	○			58.5	58.5	0.0	40.6	0.9
		(4)① 歴史上の事象（領事裁判権）	○			51.6	51.6	0.0	36.6	11.8
		(4)② 開国後の主な貿易相手国の変化の背景		○		21.6	0.9	20.7	60.9	17.5
		(5) 歴史上の事象（版籍奉還）	○			56.8	56.8	0.0	42.1	1.2

《中学校第3学年 理科》

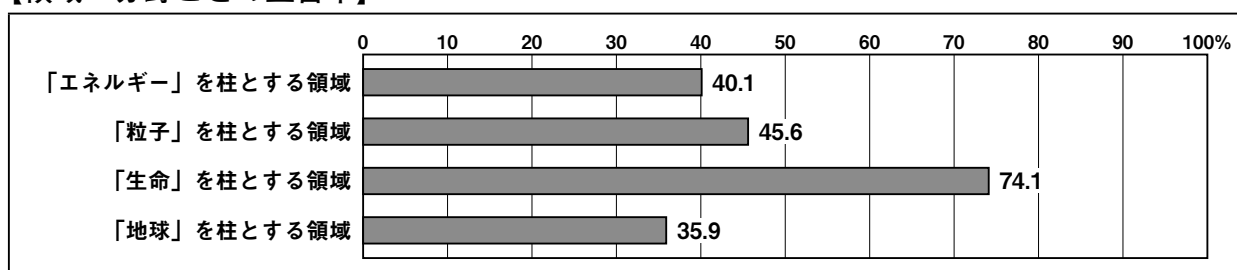
抽出生徒数	平均正答率	平均正答数
2,335人	48.9%	15.7問／32問

【正答数分布グラフ】

(横軸：正答数、縦軸：生徒の割合)



【領域・分野ごとの正答率】



【正答率の高い設問】

	設問番号	問題の内容	正答率
1	1 (2)	卵生に分類される動物	90.0
2	1 (1)	胎生の名称	88.0
3	7(1)記号	気孔	86.3

【正答率の低い設問】

	設問番号	問題の内容	正答率
1	8(1)Y	冬の太平洋側に見られる特徴的な気象の状況	8.3
2	5(2)	堆積物の粒の大きさと沈み方	14.7
3	6(3)化学反応式	酸化銀の分解の化学反応式	23.6

【無解答率の高い設問】

	設問番号	問題の内容	無解答率
1	5(2)	堆積物の粒の大きさと沈み方	23.8
2	4(4)	疑問を解決するための課題の設定【構想】	17.3
3	5(1)化石	示準化石の名称	14.5

【領域・分野ごとの到達状況の傾向】

◎：良好である ○：概ね良好である ◇：基準に到達している
▽：十分とはいえない ▼：不十分である

【「エネルギー」を柱とする領域】

▽：音の伝わり方を理解すること〔4(1)〕

▼：ギターを演奏する様子から生じた新たな疑問を解決するために、適切な課題を考えること

〔4(4)〕

【「粒子」を柱とする領域】

○：物質が水に溶けている様子について理解すること〔3(2)〕

▼：酸化銀の分解における化学反応式を理解すること〔6(3)化学反応式〕

【「生命」を柱とする領域】

◎：卵生のグループに分類できる動物について理解すること〔1(2)〕

▼：動物の特徴を比較し、分類の観点を考えること〔1(3)〕

【「地球」を柱とする領域】

▼：柱状図と地図を関連付け、地層の傾きを考えること〔5(3)〕

▼：冬の太平洋側に見られる特徴的な気象の状況を理解すること〔8(1)Y〕

【各設問の正答率等】

中学校第3学年（理科）

設問 番号	領域 分野	問題の内容	評価の観点				割合（％）			
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	正答率	正答	準正答	誤答	無解答
1	「生命」 を柱とする領域	胎生の名称	○			88.0	88.0	0.0	8.8	3.2
		卵生に分類される動物	○			90.0	90.0	0.0	9.9	0.1
		動物の分類の観点		○		52.7	52.7	0.0	42.1	5.2
		動物の分類名	○			81.5	81.5	0.0	18.3	0.2
2	「エネルギー」 を柱とする領域	誘導電流の名称	○			37.0	37.0	0.0	48.9	14.2
		検流計の仕組み	○			24.9	24.9	0.0	74.8	0.3
		誘導電流が流れる向き【分析・解釈】		○		53.4	53.4	0.0	46.3	0.3
		交流の電流がつくる磁界と電磁誘導【適用】		○		41.5	41.5	0.0	57.8	0.6
3	「粒子」 を柱とする領域	溶質の名称	○			43.0	43.0	0.0	48.4	8.6
		水溶液の粒子モデル	○			83.0	83.0	0.0	16.7	0.3
		質量パーセント濃度の計算	○			38.0	38.0	0.0	55.6	6.3
		塩化ナトリウムと硝酸カリウムが析出する温度【分析・解釈】		○		61.9	61.9	0.0	37.3	0.8
4	「エネルギー」 を柱とする領域	音の伝わり方	○			61.0	61.0	0.0	38.7	0.3
		振幅	○			39.1	39.1	0.0	60.4	0.5
		弦の張りの強さと音の高さとの関係、音の波形	○			37.6	37.6	0.0	60.7	1.8
		疑問を解決するための課題の設定【構想】		○		26.0	25.5	0.4	56.8	17.3
5	「地球」 を柱とする領域	(1)記号 示準化石からの地質年代の推定	○			33.1	33.1	0.0	66.4	0.5
		(1)化石 示準化石の名称	○			49.9	49.9	0.0	35.6	14.5
		(2) 堆積物の粒の大きさと沈み方		○		14.7	14.0	0.7	61.5	23.8
		(3) 地層の傾き【分析・解釈】		○		34.7	34.7	0.0	64.6	0.7
6	「粒子」 を柱とする領域	(1)化合物	○			34.8	34.8	0.0	64.6	0.6
		(2) ガラス管の先を水そうの水からぬく理由	○			54.0	38.1	15.8	37.3	8.7
		(3)モデル 酸化銀の分解のモデル図		○		27.0	27.0	0.0	67.0	6.0
		(3)化学反応式 酸化銀の分解の化学反応式	○			23.6	23.6	0.0	69.6	6.9
7	「生命」 を柱とする領域	(1)はたらき 光合成の名称	○			64.7	64.7	0.0	28.2	7.1
		(1)記号 気孔	○			86.3	86.3	0.0	13.0	0.7
		(2)X 呼吸によって二酸化炭素が増えたことを調べるために必要な結果【分析・解釈】		○		77.3	77.3	0.0	21.8	0.9
		(2)Y 対照実験の構想【構想】		○		52.2	52.2	0.0	46.5	1.2
8	「地球」 を柱とする領域	(1)X シベリア高気圧の名称	○			52.2	52.2	0.0	33.7	14.0
		(1)Y 冬の太平洋側に見られる特徴的な気象の状況	○			8.3	6.8	1.5	79.1	12.7
		(2) 想定した条件が成立する場合に見られる気象の状況		○		64.7	64.7	0.0	33.9	1.4
		(3) 冬に北西の季節風がふく仕組み【構想】		○		29.2	29.2	0.0	69.3	1.5

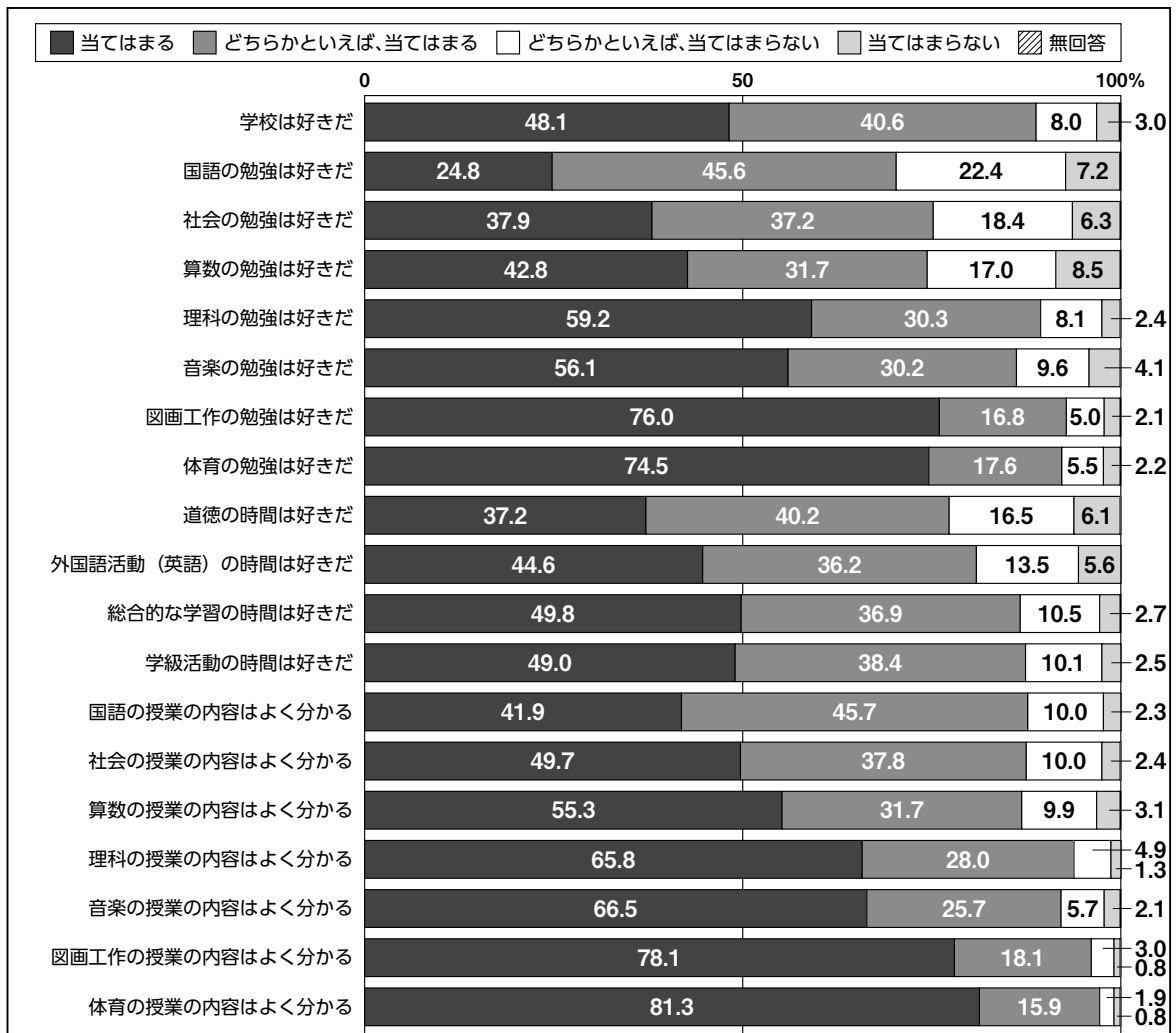
2 質問調査結果

※質問調査結果については、無回答の割合（数値）は表記していない。

《小学校第4学年》 学校数（児童数）：187校（7,809人）

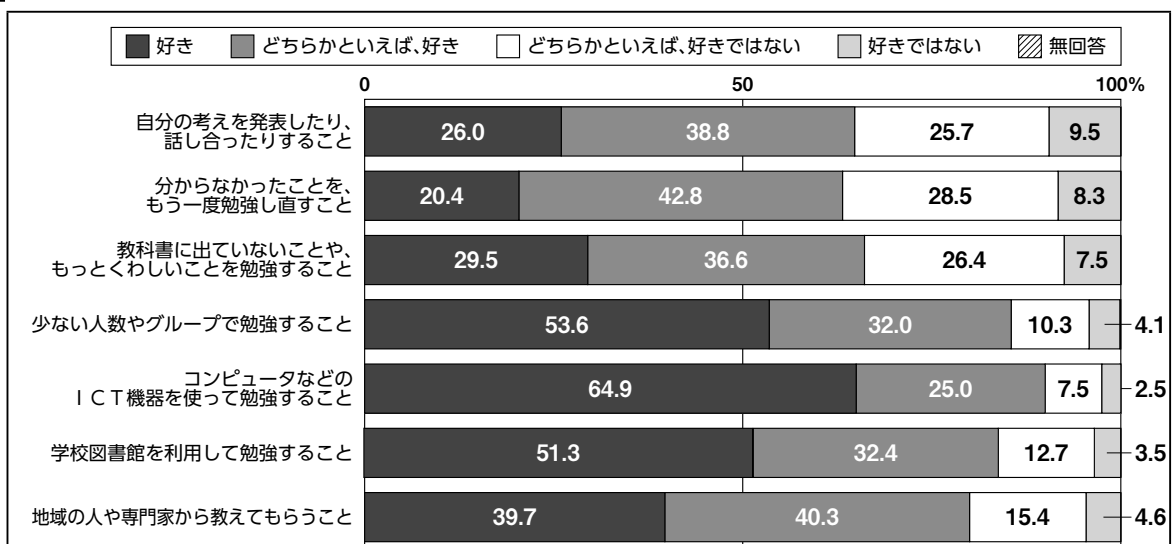
1

あなたは、次のことについてどのように思っていますか。



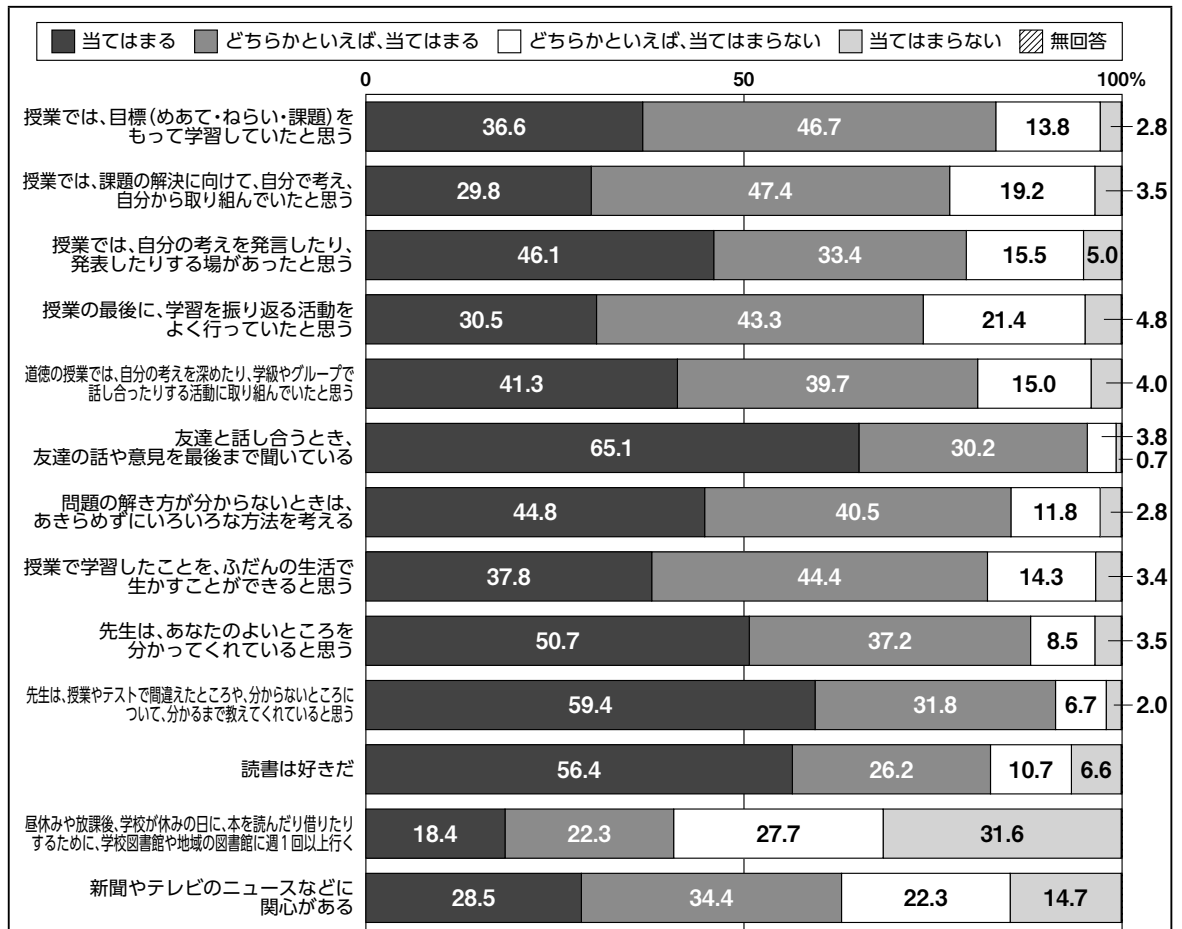
2

あなたは、授業の中で次のようなことは好きですか。



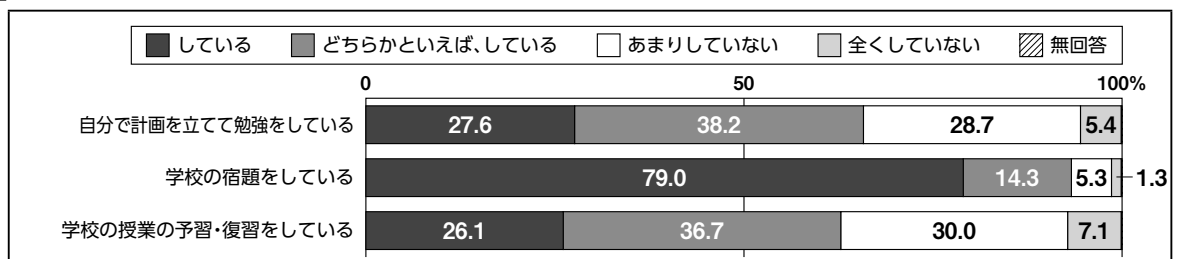
3

次のことは、あなたにどれくらい当てはまりますか。



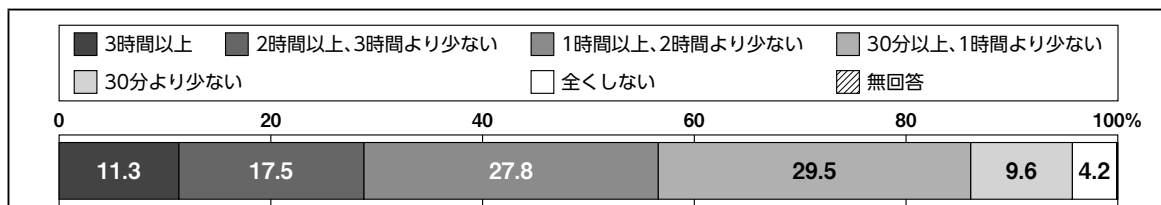
4

あなたは、家で次のようなことをしていますか。

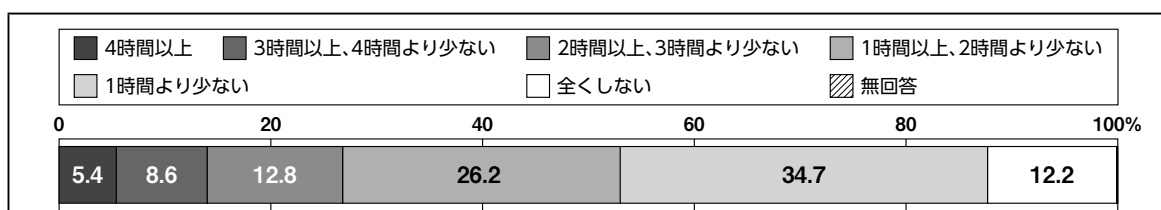


5

- (1) あなたは、学校の授業時間以外に、ふだん（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間もふくみます。）

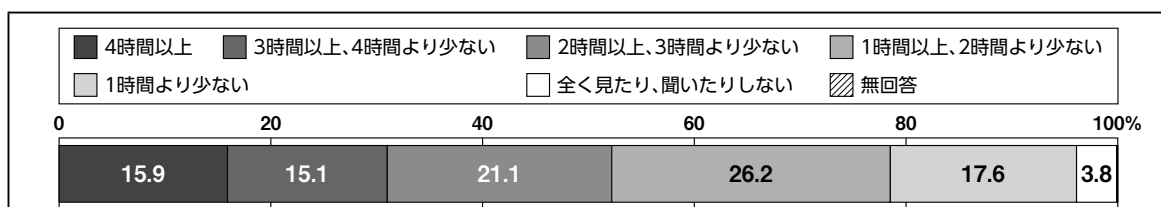


- (2) あなたは、土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間もふくみます。）

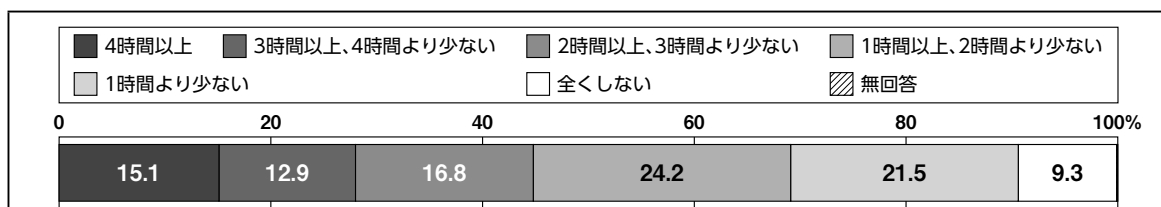


6

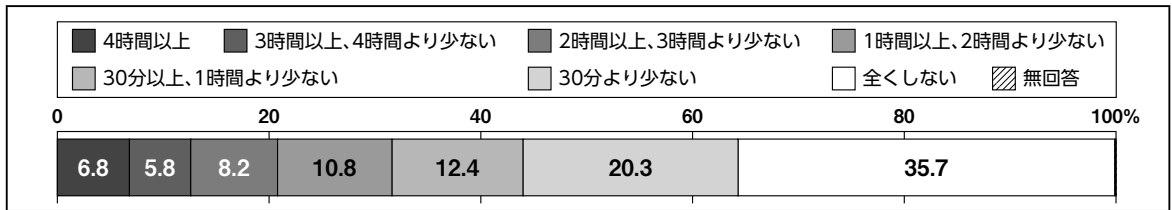
- (1) あなたは、ふだん（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビ番組やインターネット上の動画などを見たり、聞いたりしますか。（勉強のためのテレビ番組やインターネット上の動画などを見たり、聞いたりする時間はのぞきます。）



- (2) あなたは、ふだん（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンなどを使ったゲームもふくみます。）をしますか。

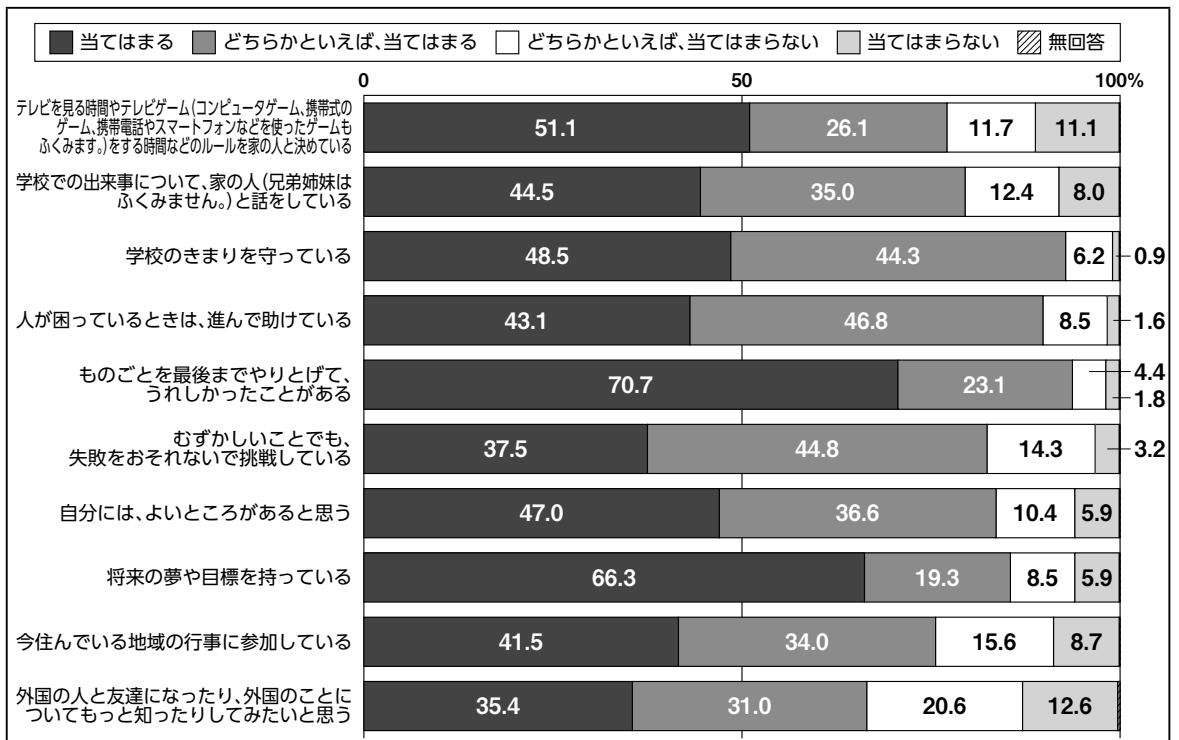


- (3) あなたは、ふだん（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンなどでインターネットやメールなどをしますか。（携帯電話やスマートフォンなどを使ってゲームをする時間はのぞきます。）



7

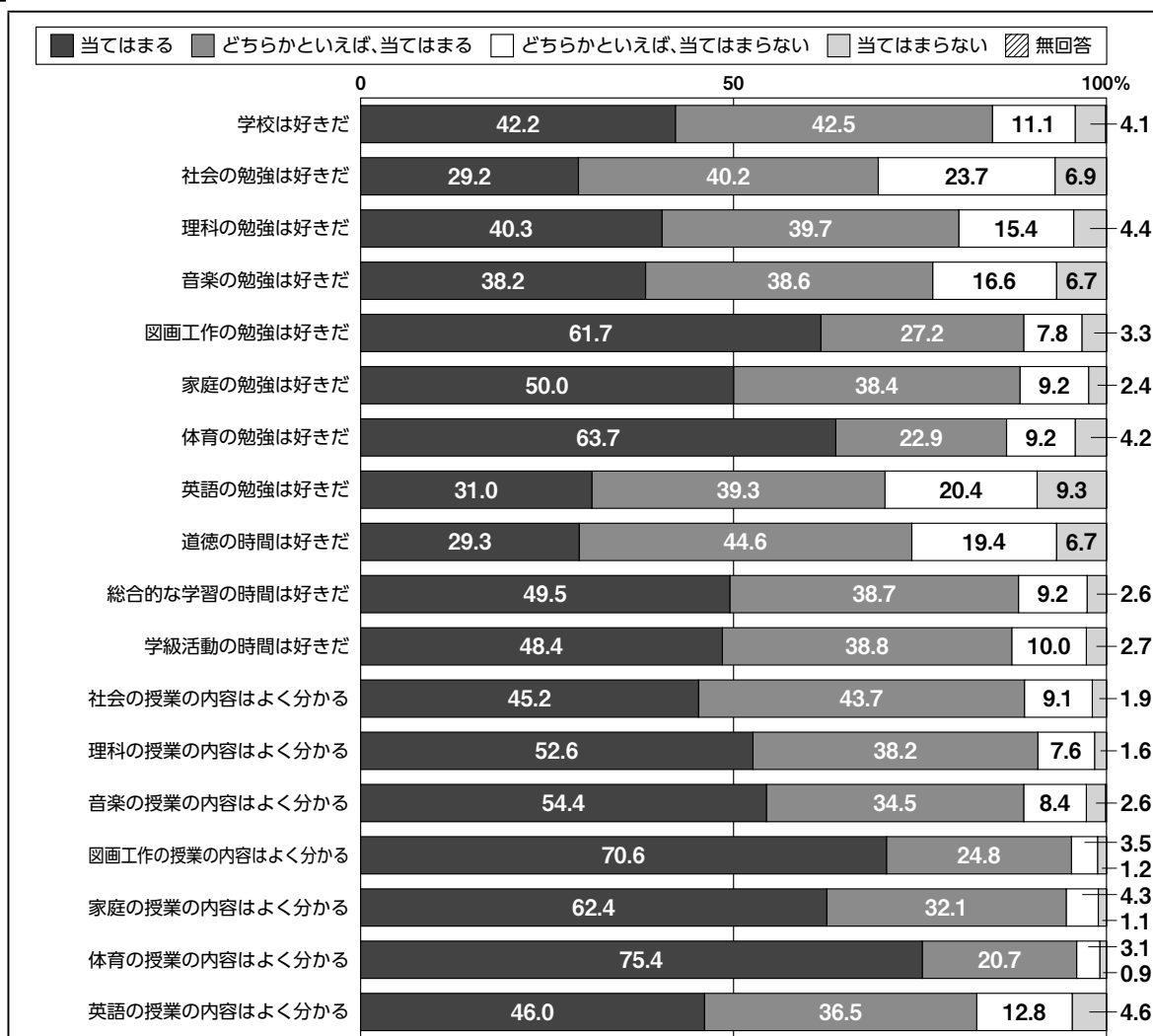
次のことは、あなたにどれくらい当てはまりますか。



《小学校第6学年》 学校数（児童数）：186校（8,178人）

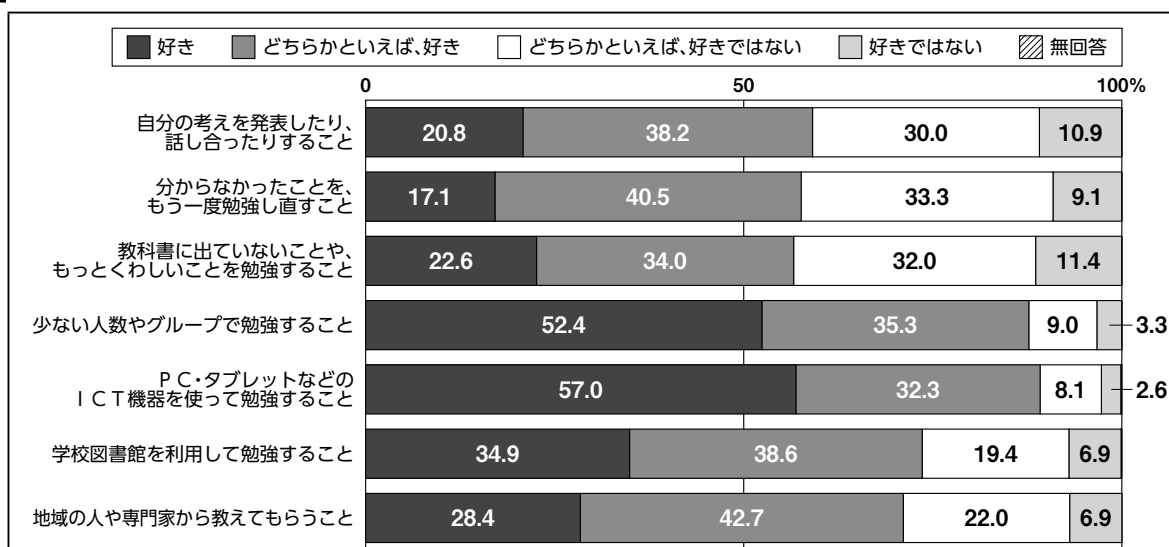
1

あなたは、次のことについてどのように思っていますか。



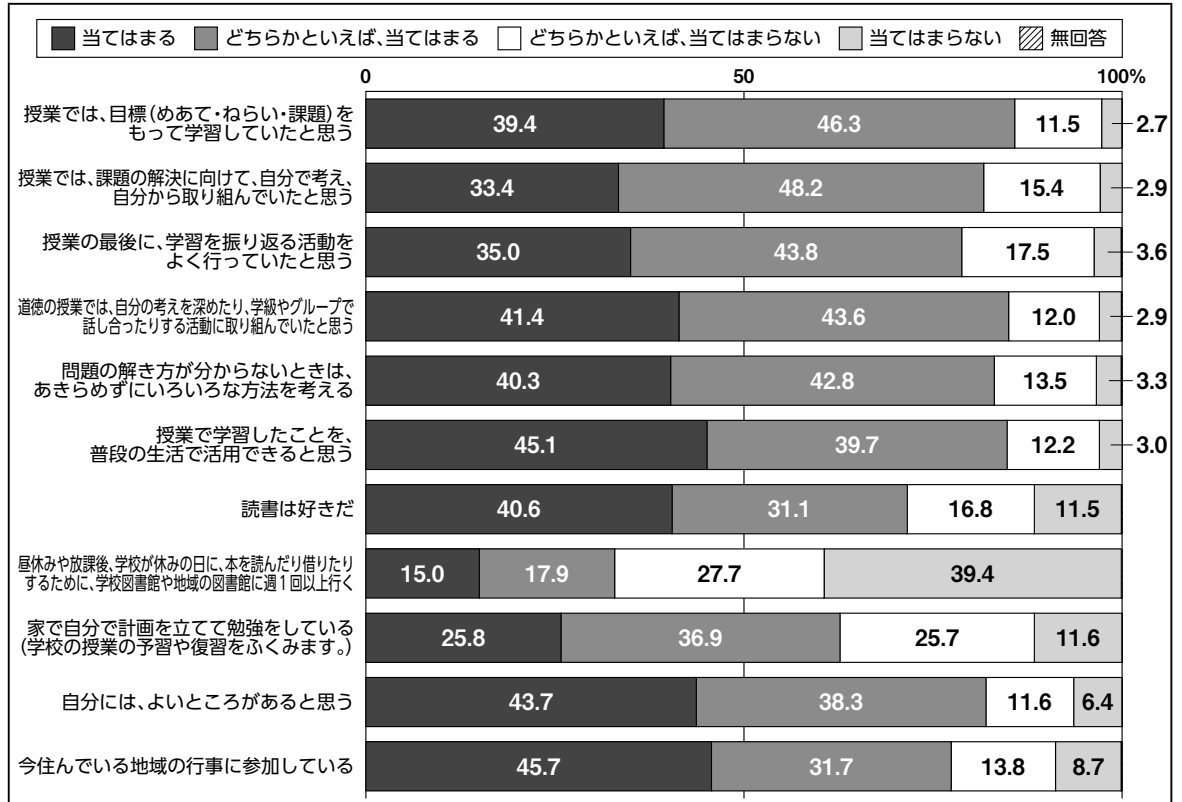
2

あなたは、授業の中で次のようなことは好きですか。



3

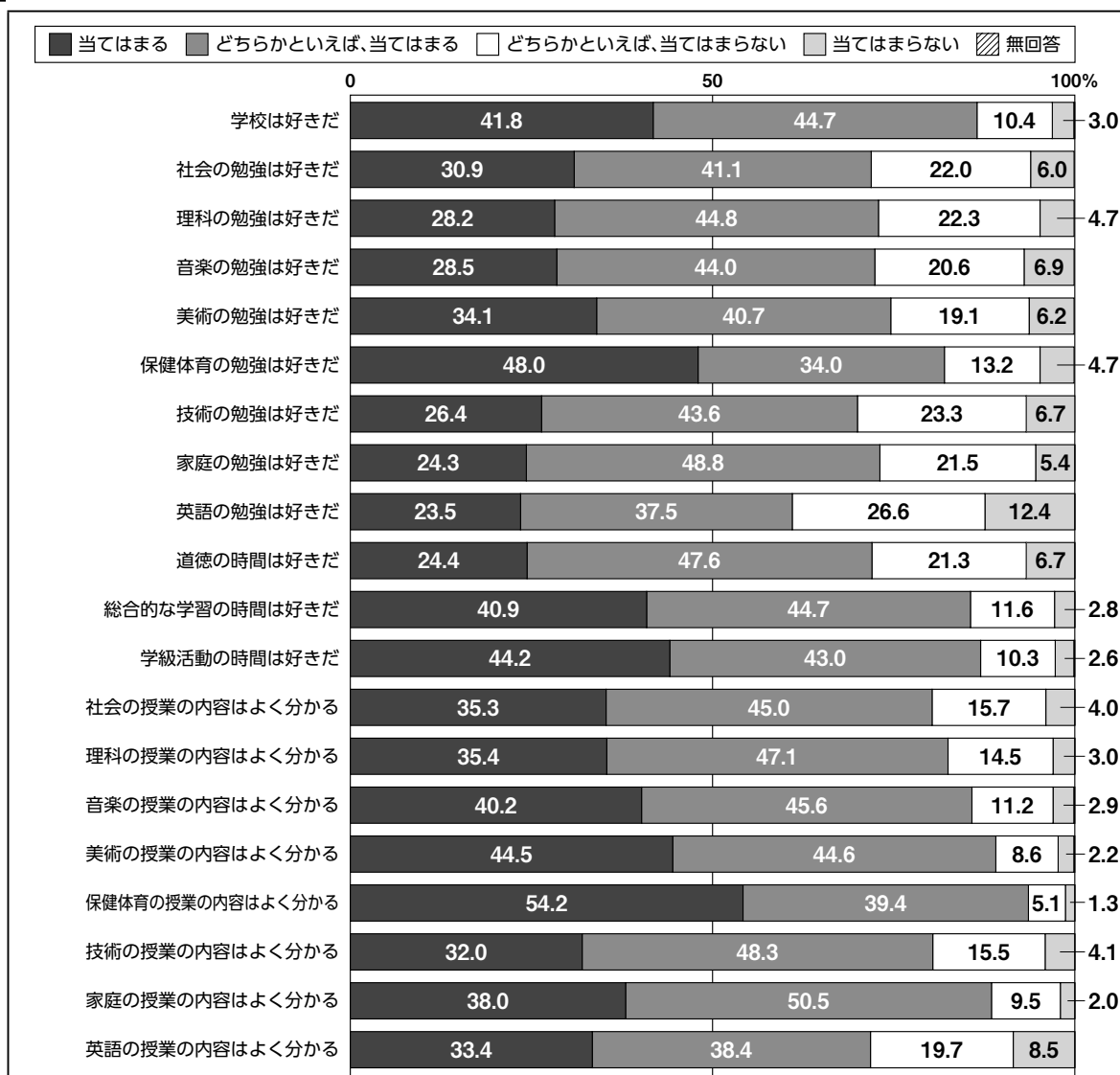
次のことは、あなたにどれくらい当てはまりますか。



《中学校第3学年》 学校数（生徒数）：83校（8,305人）

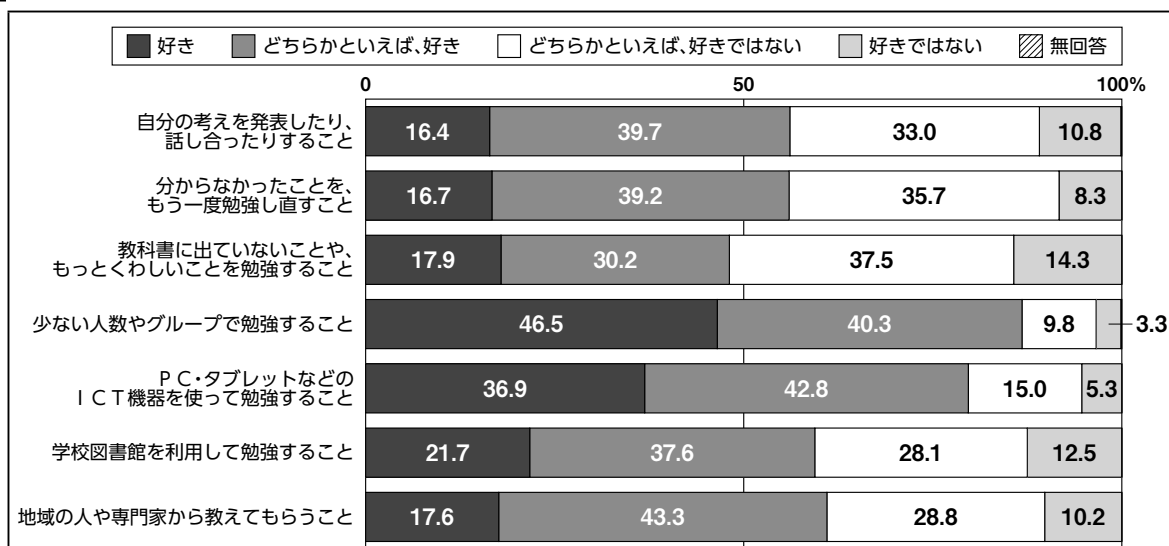
1

あなたは、次のことについてどのように思っていますか。



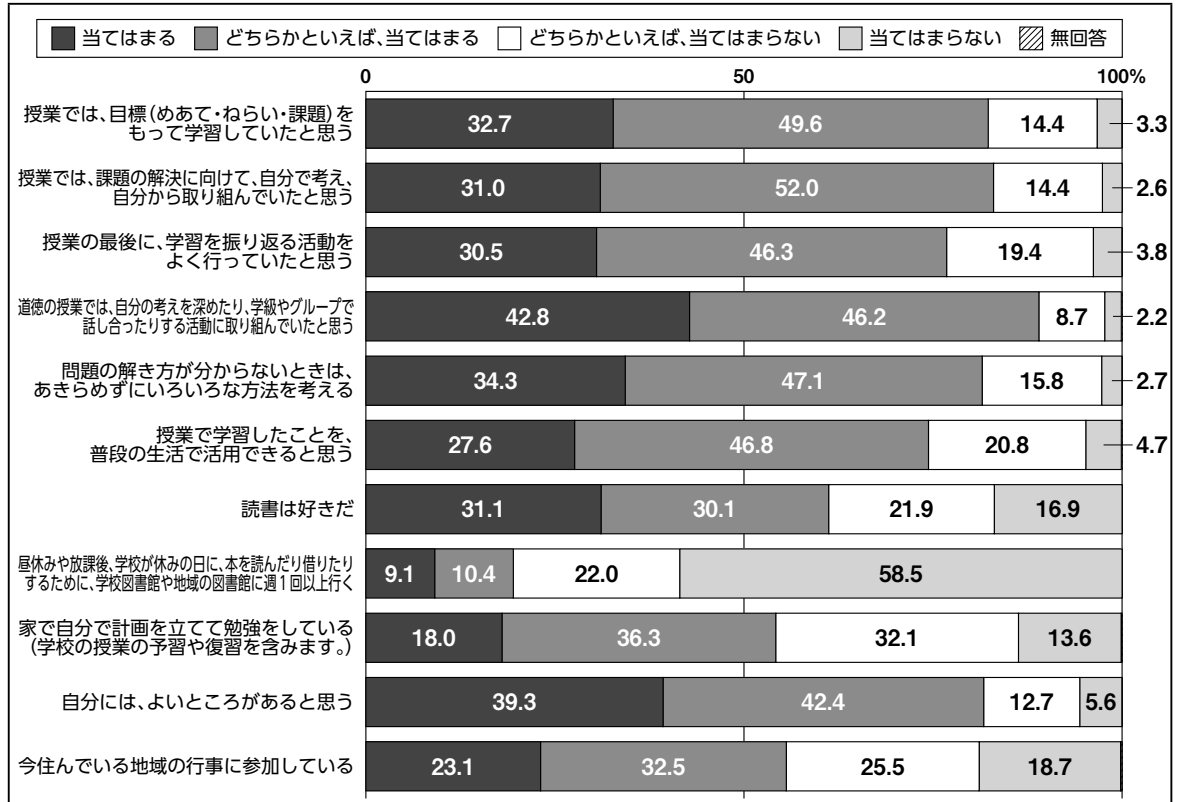
2

あなたは、授業の中で次のようなことは好きですか。



3

次のことは、あなたにどれくらい当てはまりますか。

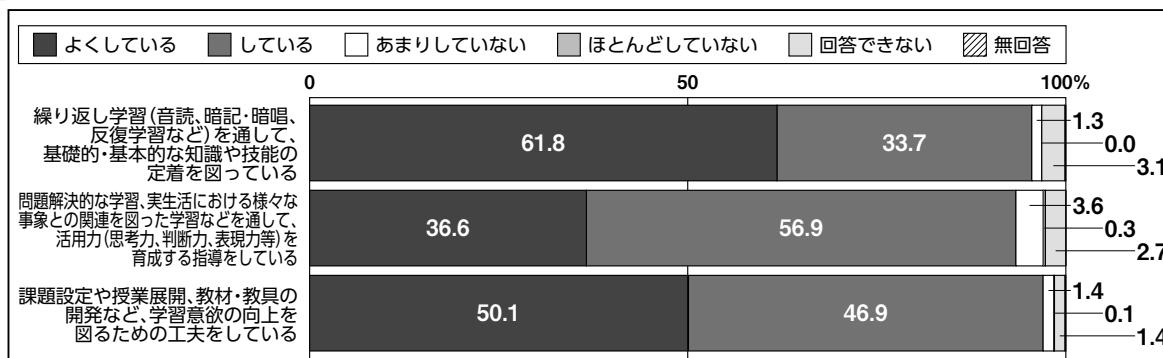


《小学校教員》 学校数（教員数）：188 校（3,053 人）

次の指導等を、昨年度からどの程度行っていますか。

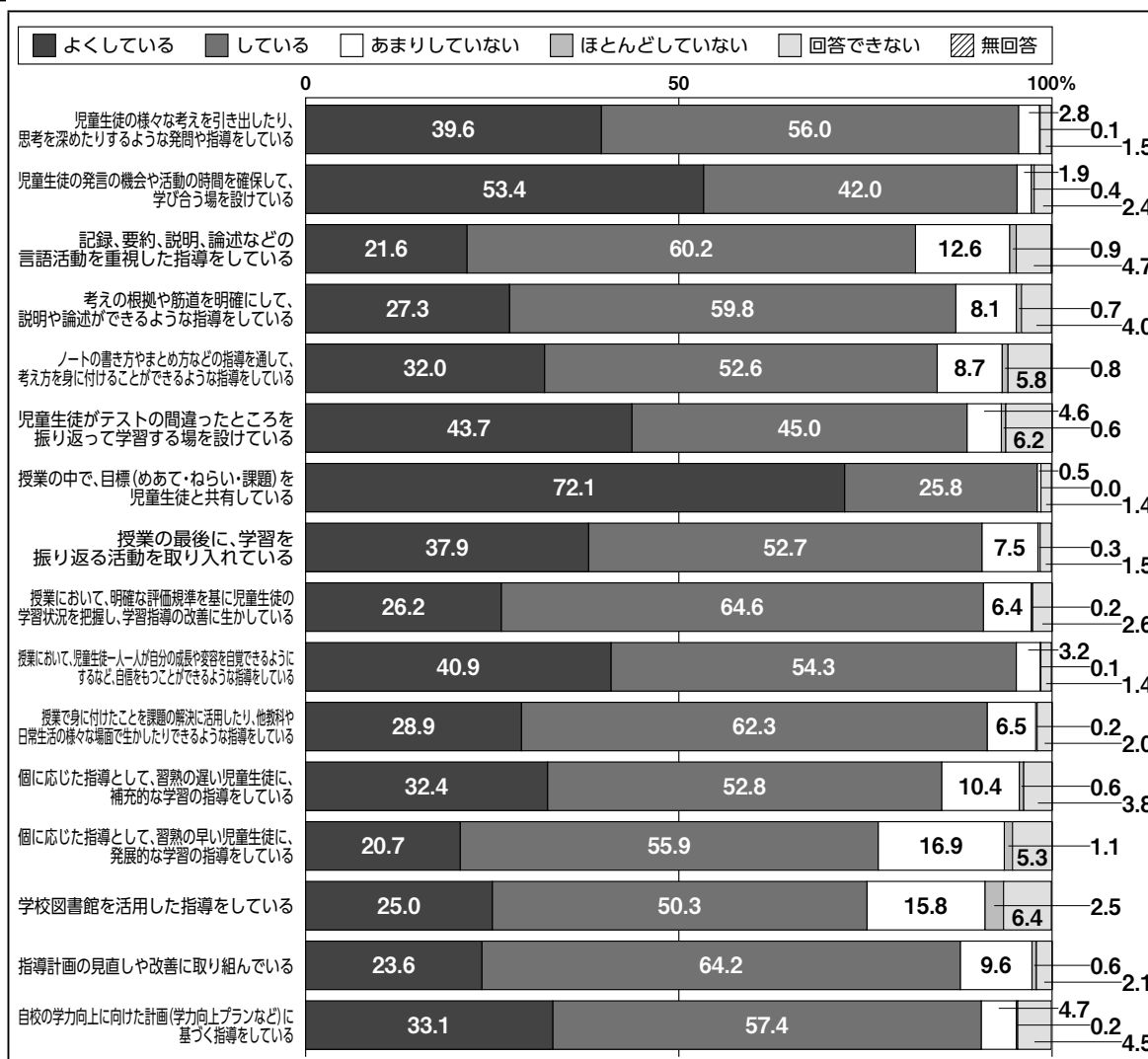
1

学力の重要な要素に関すること



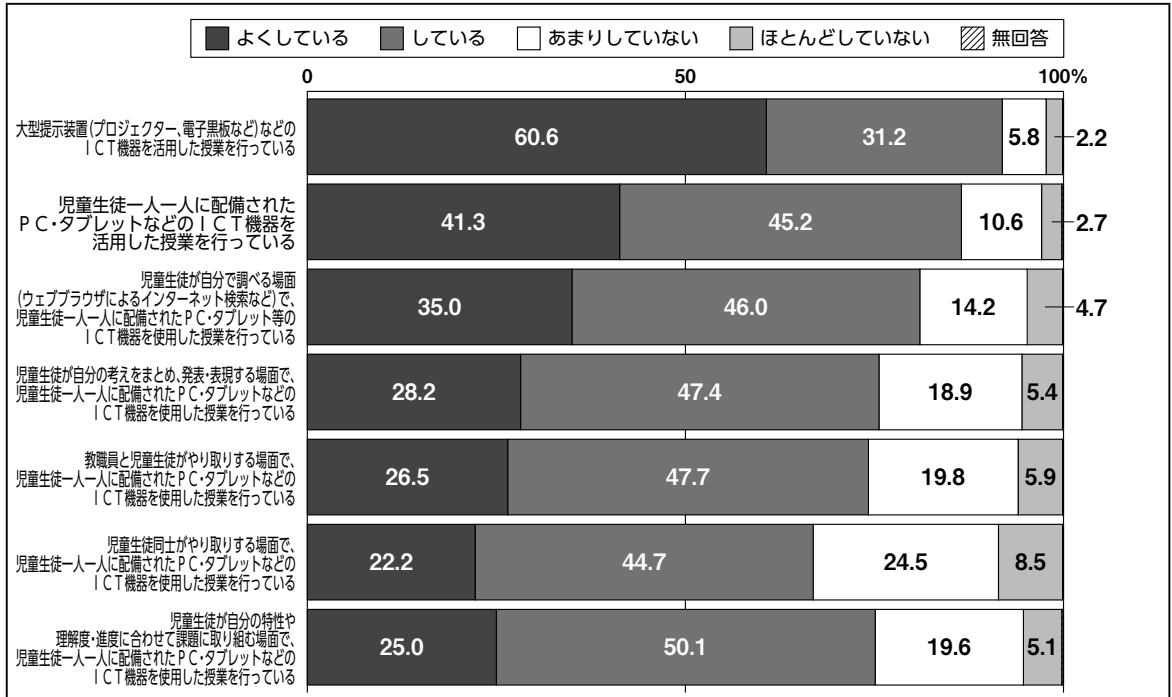
2

教科等に関すること



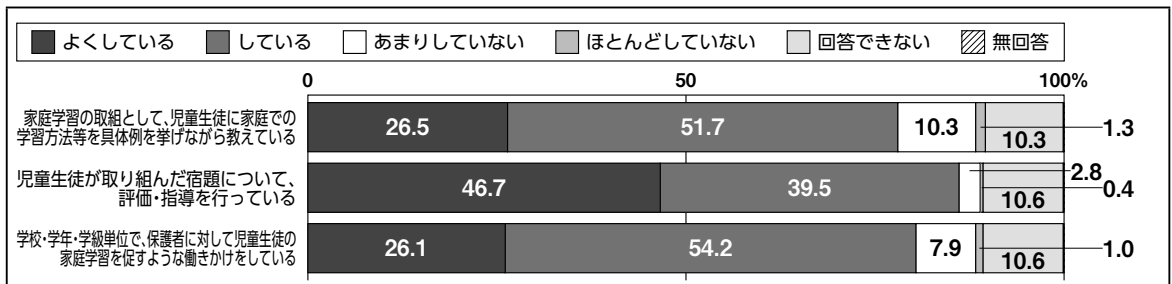
3

ICTの活用に関すること



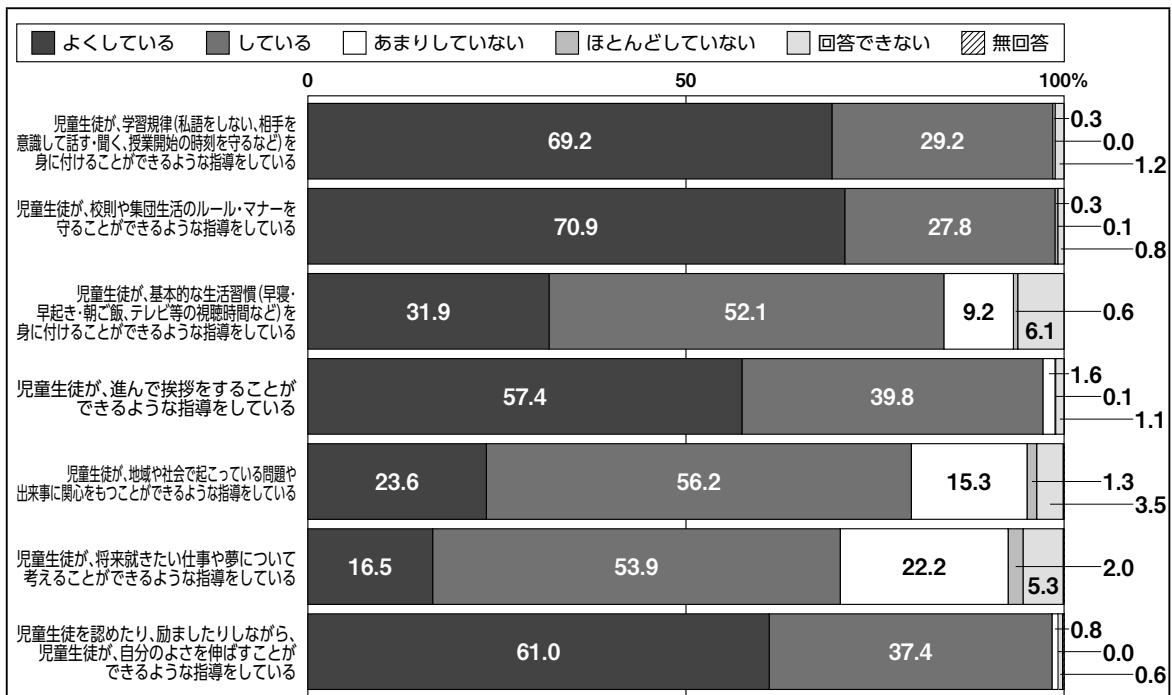
4

家庭学習に関すること



5

学習規律等に関すること

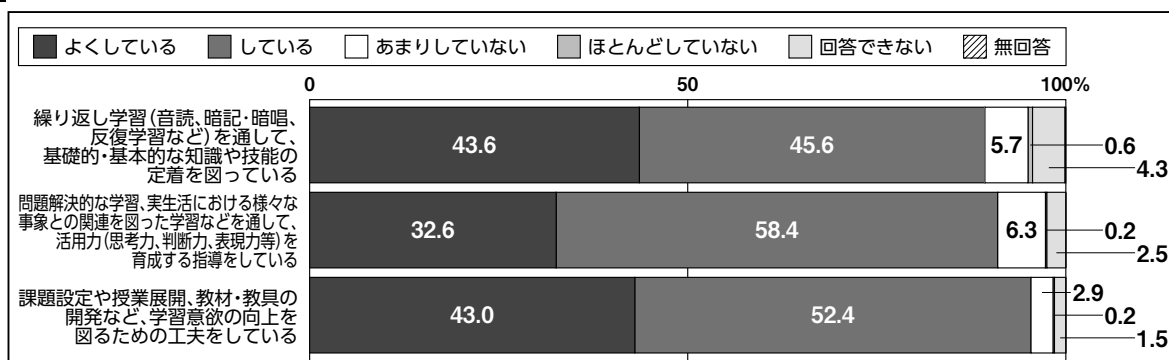


《中学校教員》 学校数（教員数）：83 校（1,705 人）

次の指導等を、昨年度からどの程度行っていますか。

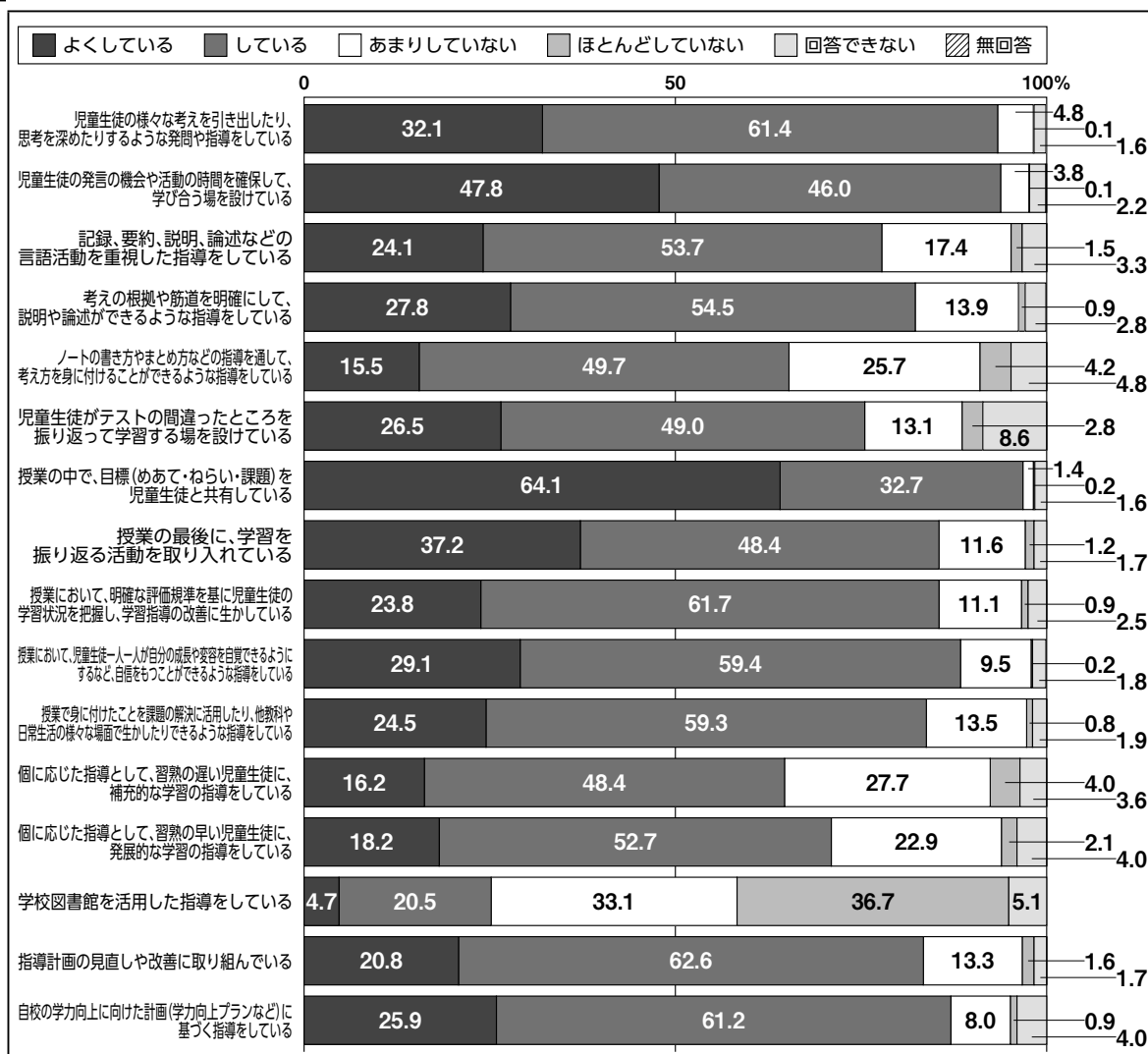
1

学力の重要な要素に関すること



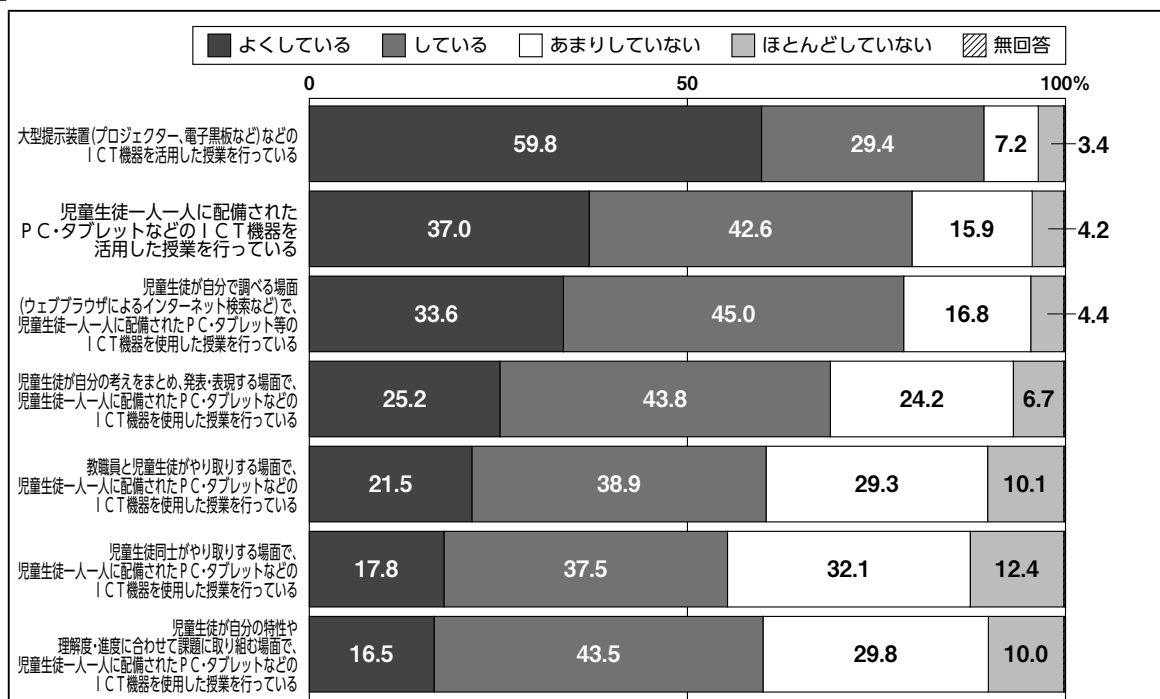
2

教科等に関すること



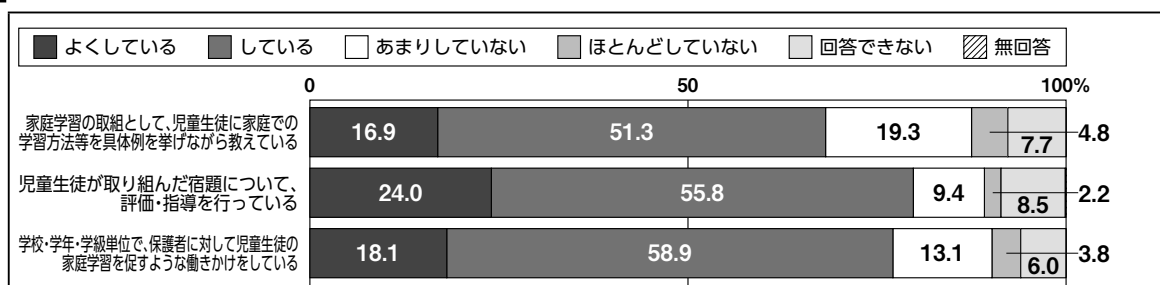
3

ICTの活用に関すること



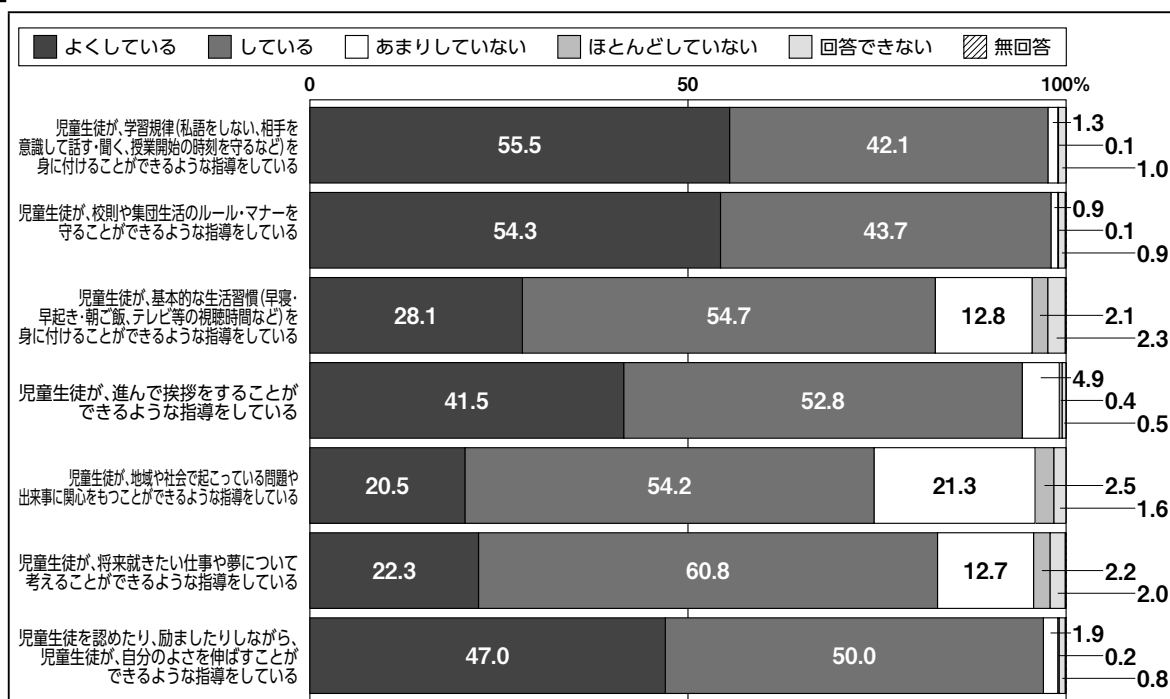
4

家庭学習に関すること



5

学習規律等に関すること



令和8年度

「基礎学力調査」―結果の概要―

令和8年7月発行

石川県教育委員会事務局学校指導課

〒920-8575 石川県金沢市鞍月1丁目1番地

TEL 076-225-1827

e-mail : gakusi@pref.ishikawa.lg.jp